

6 センターサイディング標準施工法 ＜納まり図 鉄骨造 金属胴縁編＞

6- 1	施工手順			
6- 2	納まり詳細図	鉄骨下地横組	金属胴縁縦組	サイディング横張り
6- 3	納まり詳細図	鉄骨下地縦組	金属胴縁縦組	サイディング横張り
6- 4	納まり詳細図	鉄骨下地横組	金属胴縁横組	サイディング縦張り
6- 5	納まり詳細図	鉄骨下地縦組	金属胴縁横組	サイディング縦張り



本施工方法は、防耐火構造の大臣認定を取得していません。

6 センターサイディング標準施工法

6-1 施工手順

手順① 鉄骨下地の確認

<横張り、縦張り共通の確認ポイント>

- 鉄骨下地は柱を \square -100×100×2.3mm以上、その他の下地をC-100×50×2.3mm以上またはC-100×50×20×1.6mm以上とします。
- 鉄骨下地の間隔は610mm以下とします。また、鉄骨下地の不陸は1.5mm以下にします。
(下地の不陸が大きい場合に本体表面に波うちが現れることがあります。外装材としての機能に影響はありませんが、美観を低下させる要因となりますので、特にご注意ください。)
- 出隅・入隅には \square -100×100×2.3mm以上またはC-100×50×20×1.6mm以上ダブルを使用します。
- 開口部のまわりにはC-100×50×20×1.6mm以上があることを確認してください。

<本体が横張りの場合の確認ポイント>

- 金属胴縁15を垂直方向に配置します。

<本体が縦張りの場合の確認ポイント>

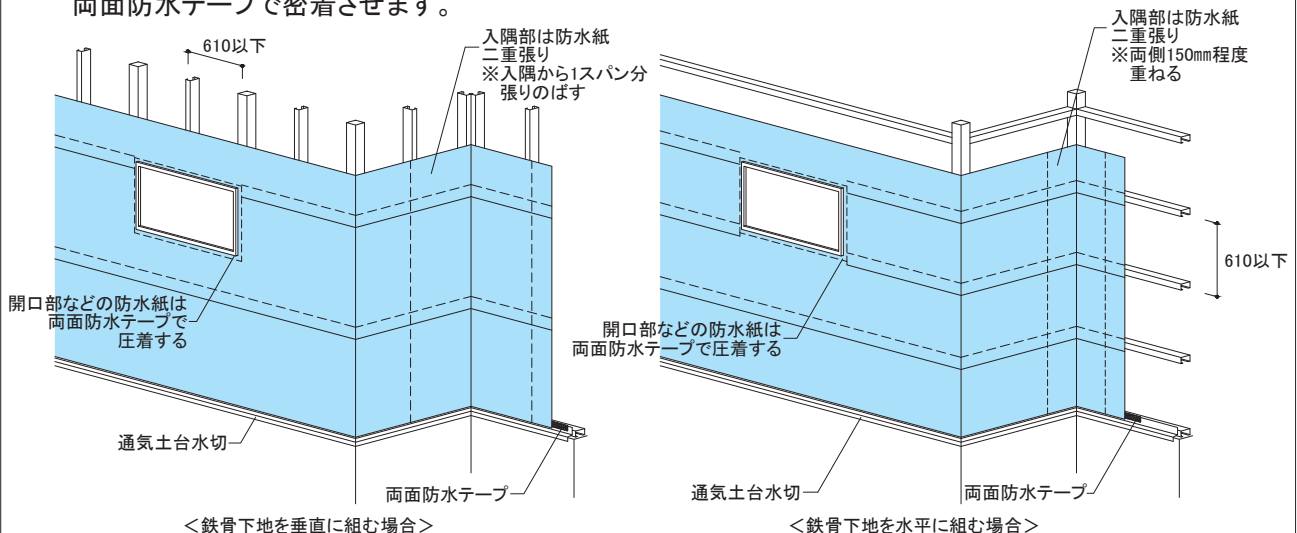
- 金属胴縁15を水平方向に配置します。

手順② 通気土台水切の取り付け

- 通気土台水切は、胴縁組みの前に土台へ水平に留め付けます。

手順③ 防水紙の施工

- 防水紙および両面防水テープを必ず使用してください。
センターサイディングを使用した外壁の防水は、本体・防水紙・防水テープの各防水機能によって確保されます。強風・大雨時には、雨水が本体裏面に浸入する場合がありますので、必ず防水紙・防水テープを施工してください。
- 防水紙は横張りを原則とし、下から上へと張り上げます。
- 通気層をふさがないように、たるみや剥がれがないようにします。
- 防水紙を下地に留め付ける際は、ステープルや両面防水テープまたは透湿防水シート用スプレーのりを使用します。
- 上下の重ね代は90mm以上、左右の重ね代は150mm以上とします。
- 防水紙は土台部から張り上げます。土台部の水切立ち上がり下端から20mm程度の位置まで防水紙を重ね、両面防水テープで圧着します。(通気土台水切は水切についている両面テープに密着させます。)
- 出隅・入隅部などの隅角部は、特に隙間、破れなどの防水上の欠陥を生じさせないようにしてください。出隅部では両方向とも鉄骨下地幅程度重ねて留め付け、入隅部では両端の鉄骨下地があるところに留め付けます。
- 防水紙が破れた場合は張り直すか補修をしてください。
- 開口部まわりや換気口・配管まわりなどは両面防水テープで密着させます。また、サッシのツバと防水紙も両面防水テープで密着させます。



6 センターサイディング標準施工法

6-1 施工手順

手順④ 胴縁の施工

<横張り、縦張り共通の施工ポイント>

- 開口部まわりに金属胴縁15を留め付けます。

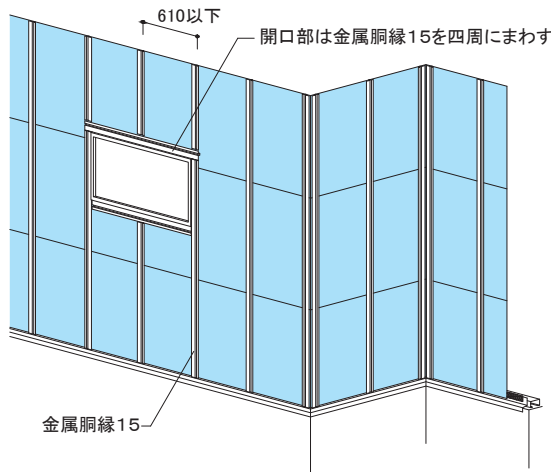
注)防耐火構造とする場合、金属胴縁15は使用できません。

<本体が横張りの場合の施工ポイント>

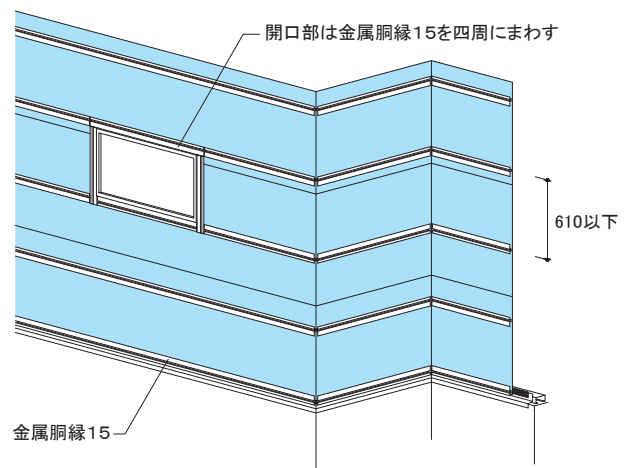
- 金属胴縁15は垂直方向に防水紙の上から鉄骨下地に留め付けます。
- 金属胴縁15の間隔は610mm以下とします。積雪地域や強風地域などは、金属胴縁15の留付間隔を狭めます。

<本体が縦張りの場合の施工ポイント>

- 金属胴縁15は水平方向に防水紙の上から鉄骨下地に留め付けます。
- 金属胴縁15の間隔は610mm以下とします。積雪地域や強風地域などは、金属胴縁15の留付間隔を狭めます。



<金属胴縁15を垂直に組む場合>



<金属胴縁15を水平に組む場合>

手順⑤ 墨出し

- 本体の働き幅で墨出しを行います。

手順⑥ 先付け付属部材の施工(S出隅鋼板受け18など)

- 出隅受け・S廻り縁受けなどの先付け付属部材は専用ビス3で金属胴縁15に留め付けます。
- 受けなどの先付け付属部材の継ぎ部分はカバー(後付け付属部材)の浮き上がり防止のため、十分に押さえて固定します。
- スターターは水準器などを用い、水平を確認します。
- 受けなどの先付け付属部材は、指定の部位に捨てシーリングを施工します。この際、捨てシーリングが浸入した水の排出を妨げないように注意してください。
- 中間水切18は下側の本体を施工後に取り付けます。取り付け後、上側のセンターサイディングを施工します。
- ケガ防止のため、付属品端部は板金加工を施します。
- ビス打ちミスによる孔は、防水のため必ずシーリングでふさいでください。(防水のため、ビス頭にもシーリングを施工します。)

6 センターサイディング標準施工法

6-1 施工手順

手順⑦ センターサイディング本体の施工

<横張り、縦張り共通の施工ポイント>

- 本体は専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認してください。働き幅は製品ロットによって多少異なる場合があります。
- F型、FB型、FN型(糸目地タイプのセンターサイディング)では、内部応力による変形防止のため、強く押しつけながら差し込まないでください。
- ビス打ちミスによる孔は、防水のため必ずシーリングでふさいでください。

<本体が横張りの場合の施工ポイント>

- 本体の嵌合部は雨水の横走り防止のため、本体左右端部から30mm程度の差し込み溝に捨てシーリングを施工します。
- 横張り時、軒天部で最上段のセンターサイディングは軒天までの寸法にあわせて長手方向に切断し、一旦見切縁などの奥(軒天側)まで差し込んでから、下段の本体に嵌合させます。
- 長手方向に切断した本体が反ることがありますので、本体の上部から下部へと押さえつけながら、本体上部を金属胴縁15に表面からビス留めし、ビス頭に補修塗料を塗布します。

<本体が縦張りの場合の施工ポイント>

- 張り始めと張り終わりで本体の倒れを防止するため、必要に応じて先付け付属部材と本体裏面との間に調整材を入れます。
- 張り始めと張り終わりを金属胴縁15に表面からビス留めし、ビス頭に補修塗料を塗布します。

手順⑧ 後付け付属部材の施工(S出隅カバーなど)

- カバーなどの後付け付属部材の差し込みが硬い場合は、当て木などをあて徐々に差し込んでください。直接たたくと変形や破損の原因になります。

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

6-2 納まり詳細図

鉄骨下地横組

金属胴縁縦組

サイディング横張り

1)基本構成図・下地組図	
2)主要部材一覧表	
3)土台部	通気土台水切
4)上下接合部	嵌合
5)左右接合部	目地鋼板受け+NS目地カバー
6)入隅部	N見切縁18
7)出隅部	S出隅鋼板受け18+S出隅カバー
8)開口部	①上側 N端部カバー ②下側 N見切縁18 ③左右側 N見切縁18
9)軒天部	①通気見切縁21 ②N見切縁18
10)オーバーハング部	オーバーハング水切+N端部カバー



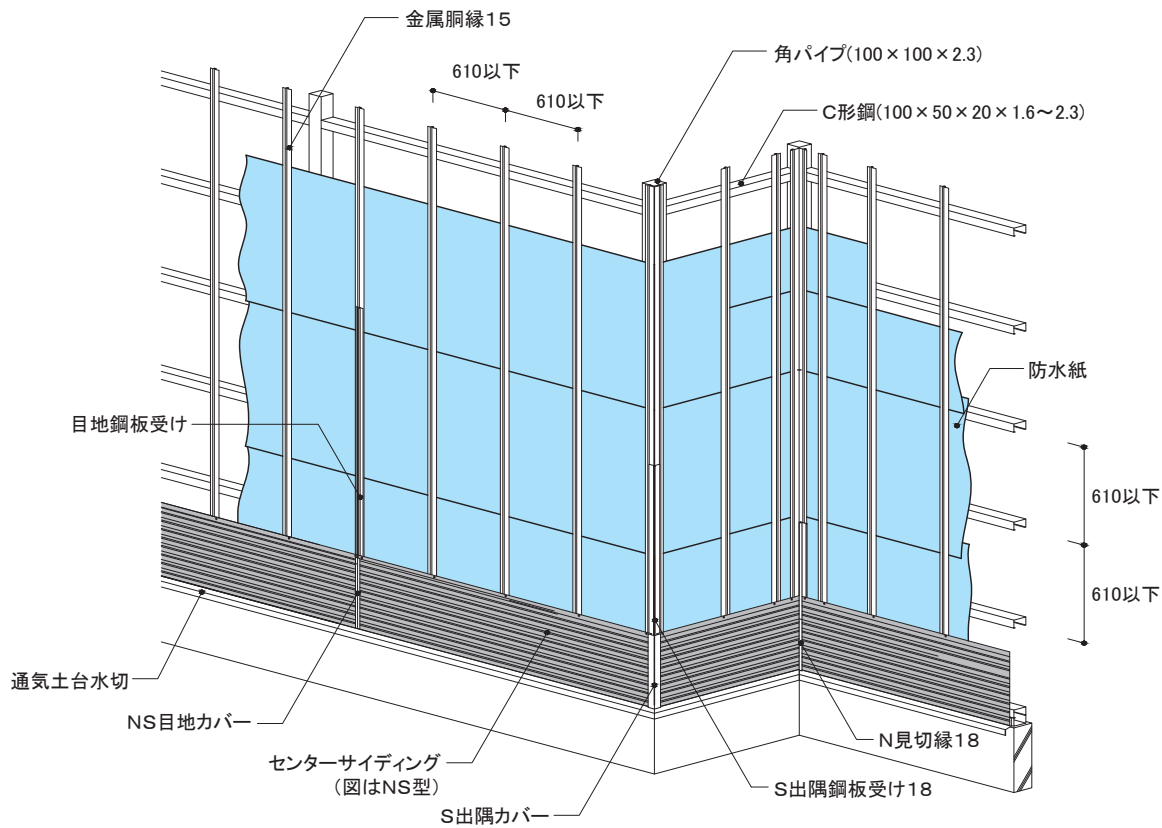
本施工方法は防耐火構造の大臣認定を取得していません。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	縦	横

1) 基本構成図・下地組図

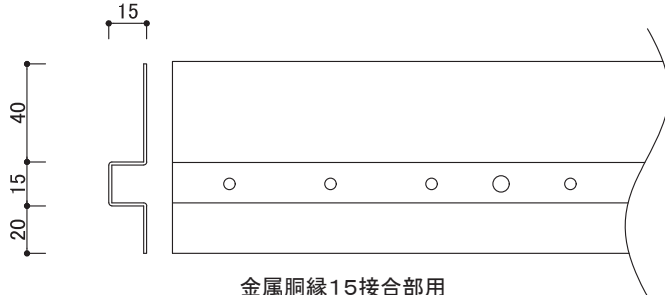
- 鉄骨下地は610mm以下の間隔とします。
- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 防水紙は横張りとし、下から順に張り上げます。
- 金属胴縁15は610mm以下の間隔で配置し、専用ビス1を使用して、610mm以下の間隔で鉄骨下地に留め付けます。
- センターサイディングは専用ビス2を用いて、金属胴縁15に610mm以下の間隔で留め付けます。

※本施工方法は防耐火構造の大臣認定を取得しておりません。



2) 主要部材一覧表

■金属胴縁15接合部用



金属胴縁15接合部用
【品番:KN2060】

材質:高耐食めつき鋼板 厚み:1.2mm 長さ:2,990mm
備考:専用ビス1で鉄骨下地へ固定

■専用ビス1

(金属胴縁15留付ビス)



ステンステクスネジ
【品番:JK1140】
材質:ステンレス
サイズ:φ4mm×19mm

※各部材は、2024年2月時点のものです。最新の情報は、NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図

木造編
センターサイディング

鉄骨造
金属胴縁編
センターサイディング

鉄骨造
直張り編
センターサイディング

標準施工法
センター化粧石膏板

標準施工法
センタールーフ

納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

センターサイディング 18mm厚品

下地

鉄骨下地

鉄骨下地方向

横

金属胴縁方向

縦

張り方向

横

2) 主要部材一覧表

■専用ビス2 (本体留付ビス)



ステンステクスネジ
【品番:JK1510】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.5mm×10mm

■専用ビス3 (付属部材留付ビス)



平頭ねじ
【品番:KN65】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.8mm×13mm

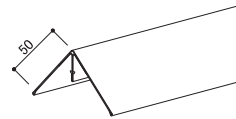
■専用ビス4 (表面留付ビス)

軒天部、笠木部などおよび補強工法での
センターサイディング表面留め用ビス



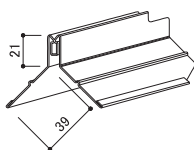
ステンレドリルビス
【品番:JK1740】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.5mm×27mm

■出隅カバー



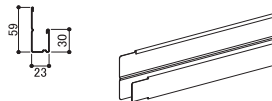
S出隅カバー
【品番:ADS2****】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■出隅鋼板受け



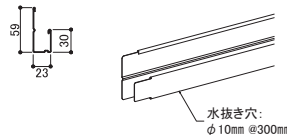
S出隅鋼板受け18
【品番:ADU1F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
働き長さ:3,030mm

■見切縁



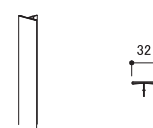
N見切縁18
【品番:AMKEF0**】
【品番:AMKGF0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■端部カバー



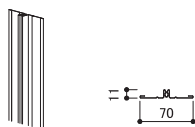
N端部カバー
【品番:AMKFF0**】
【品番:AMKHF0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm
水抜き穴:φ10mm @ 300mm

■目地カバー



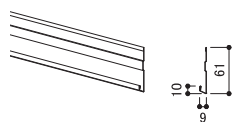
NS目地カバー
【品番:AMJ3F0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■目地受け



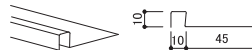
目地鋼板受け
【品番:AMU6F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
働き長さ:3,030mm

■スターター



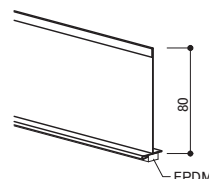
ヨコ用スターター
【品番:AST2F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
長さ:3,030mm

■片ハットジョイナー10



片ハットジョイナー10
【品番:FHK1110R】
材質:フッ素樹脂コート高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.3mm、長さ:2,000mm

■鋼板止水部材



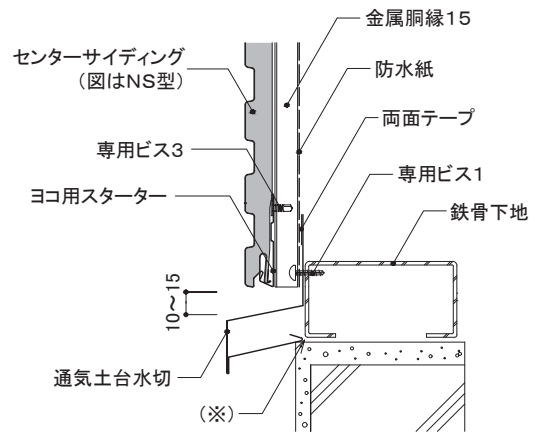
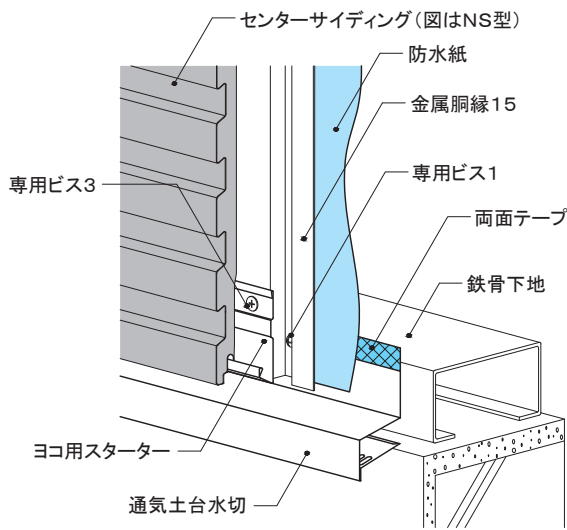
鋼板止水部材
【品番:KE5100】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 長さ:3,030mm

※各工法の納まり図例にて使用される主要な部材例です。(2024年2月時点)
その他の部材および部材の最新情報は、NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
		鉄骨下地	横	縦	横

3) 土台部	通気土台水切
--------	--------

- 通気土台水切は、胴縁組みの前に鉄骨下地へ500mm以下の間隔で専用ビス3を用いて水平に留め付けます。
- 金属胴縁15は鉄骨下地に専用ビス1を使用し、610mm以下の間隔で留め付けます。
- ヨコ用スターターは専用ビス3を用いて金属胴縁15ごとに水平に留め付けます。
- センターサイディング下端と通気土台水切の間に、10～15mmの隙間を設けます。
- センターサイディングは専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



※吹き上げなどによる雨水の浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

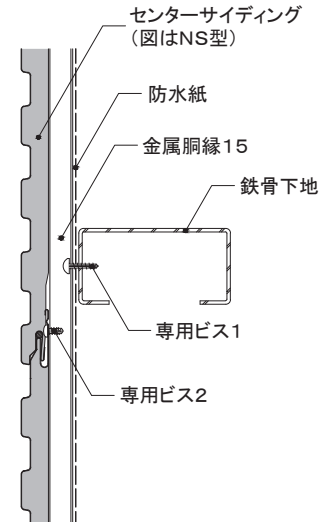
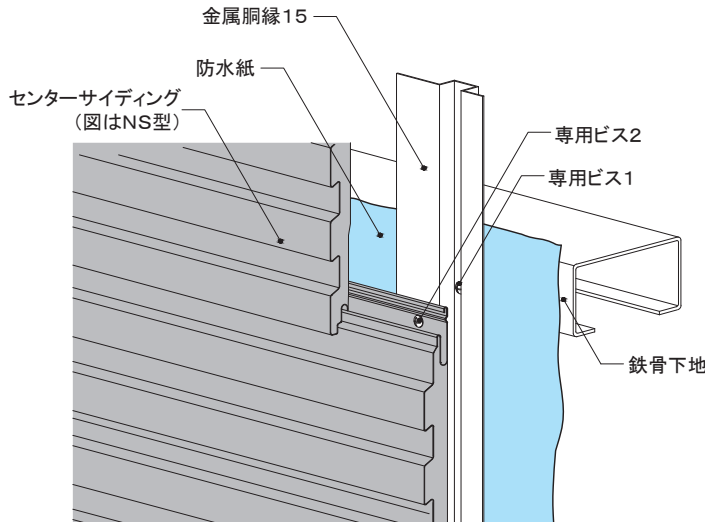
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	横	縦	横

4) 上下接合部

嵌合

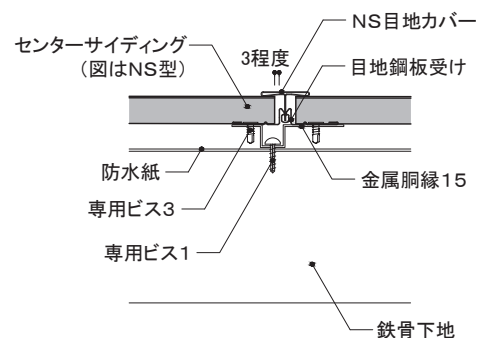
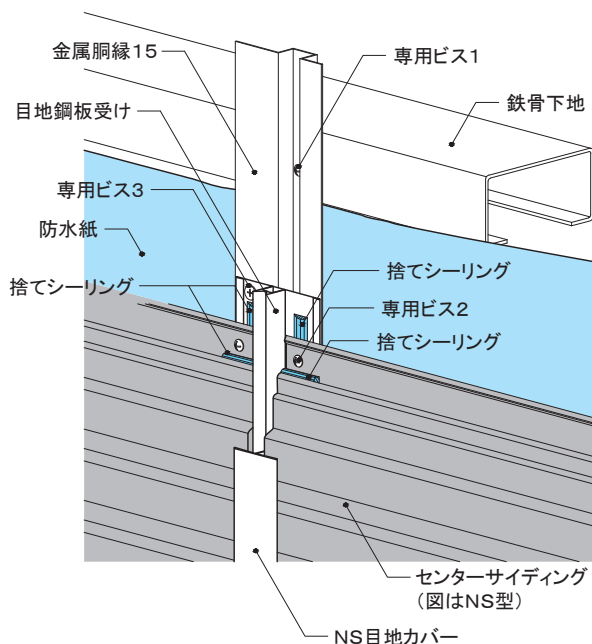
- センターサイディングは実を確実に嵌合させ、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認しながら施工します。



5) 左右接合部

目地鋼板受け+NS目地カバー

- 目地鋼板受けは専用ビス3で取り付け、両側端部に捨てシーリングを施工します。
- センターサイディングは専用ビス2で留め付けます。センターサイディングと目地鋼板受けは図のように3mm程度隙間を設けます。
- NS目地カバーを目地鋼板受けに差し込みます。

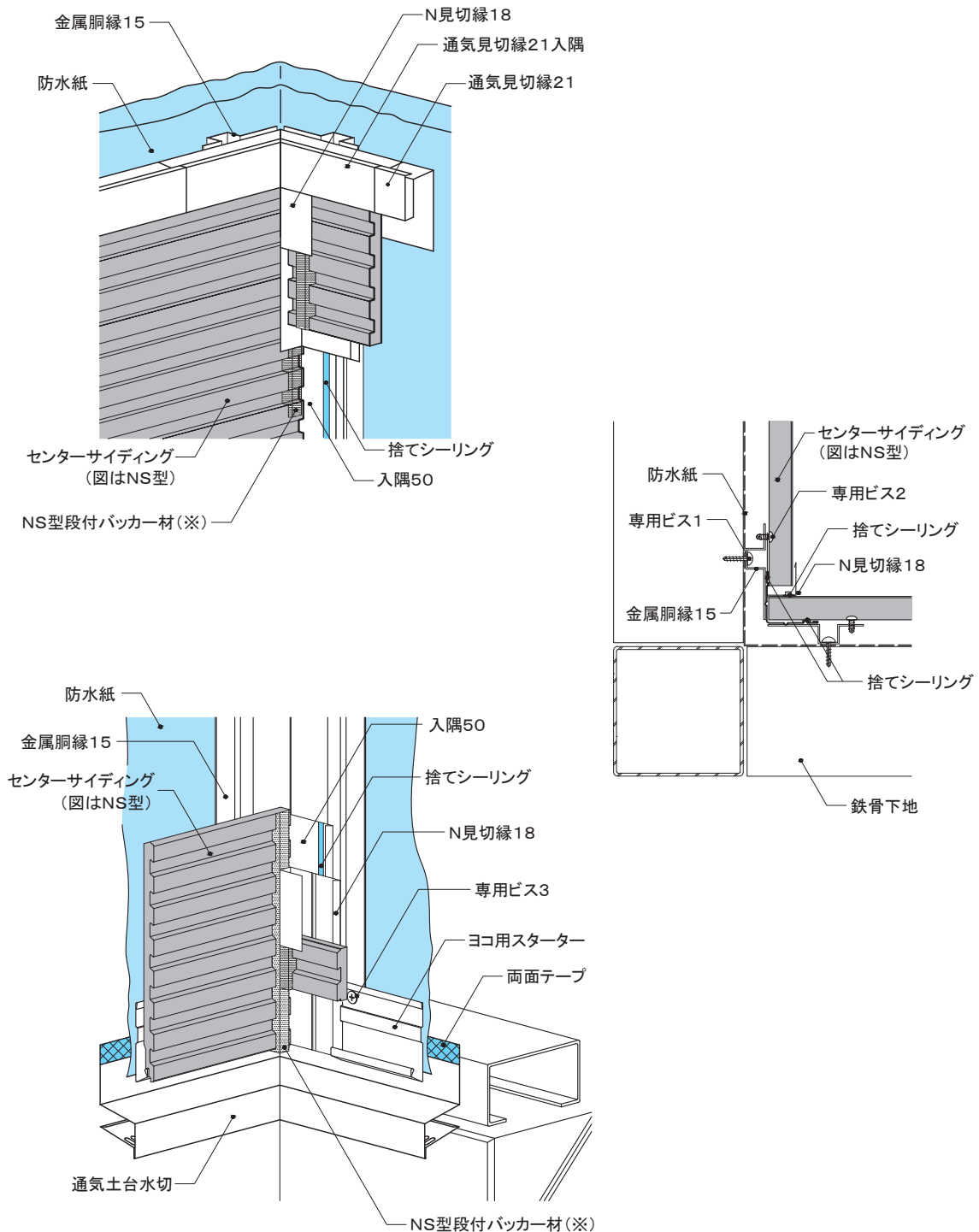


センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	縦	横

6) 入隅部

N見切縁18

- 入隅50を取り付け、両側端部に捨てシーリングを施工します。
- 各センターサイディングの端部は必要に応じて、NS型段付バック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングは専用ビス2で留め付けます。
- 最上段のセンターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から専用ビス4で留め付けます。



標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図

木造編
センターサイディング

鉄骨造 金属胴縁編
センターサイディング

鉄骨造 直張り編
センターサイディング

標準施工法
センター化粧幕板

標準施工法
センタールーフ

納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

センターサイディング 18mm厚品

下地

鉄骨下地

鉄骨下地方向

横

金属胴縁方向

縦

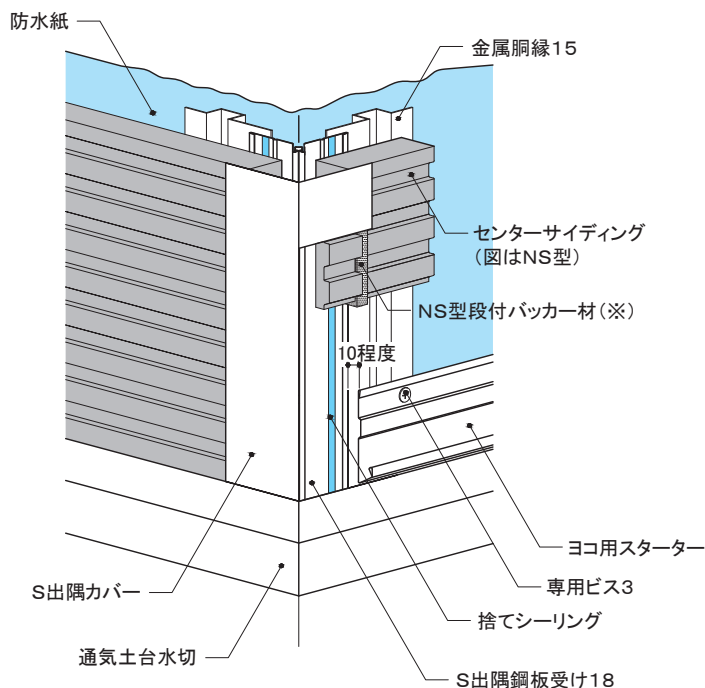
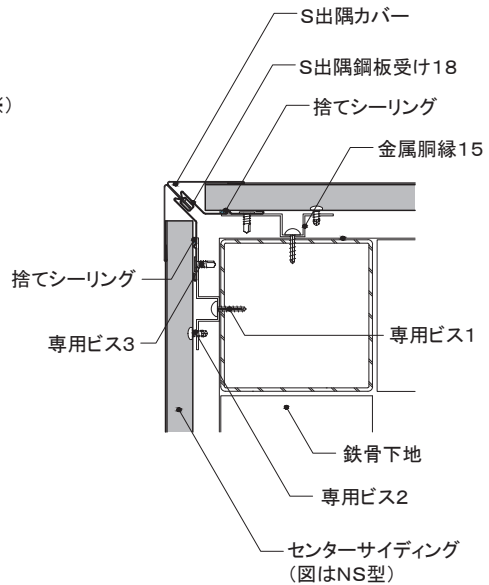
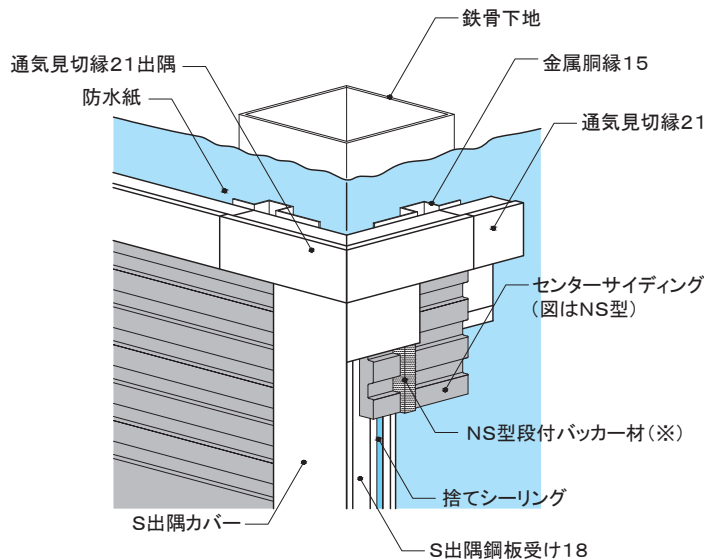
張り方向

横

7) 出隅部

S出隅鋼板受け18+S出隅カバー

- S出隅鋼板受け18は専用ビス3を用いて、通気土台水切から10~15mmの隙間を設けて取り付けます。
- S出隅鋼板受け18の両側端部に捨てシーリングを施工します。
- ヨコ用スターターをS出隅鋼板受け18から10mm程度離して取り付けます。
- 各センターサイディング端部に、必要に応じてNS型段付バック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングは専用ビス2で留め付けます。
- 最上段のセンターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から専用ビス4で留め付けます。
- S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。

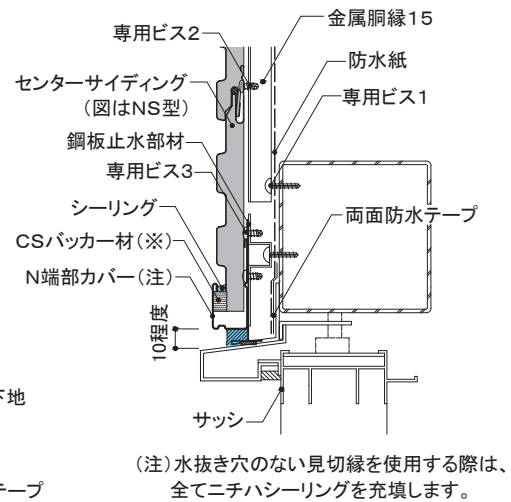
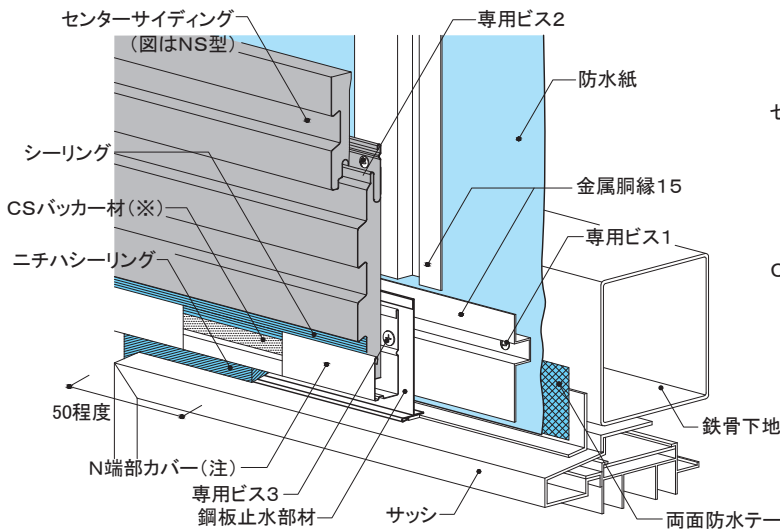


センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	縦	横

8) 開口部

① 上側 N端部カバー

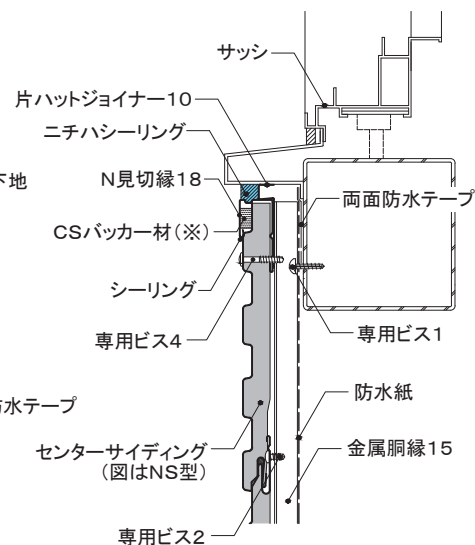
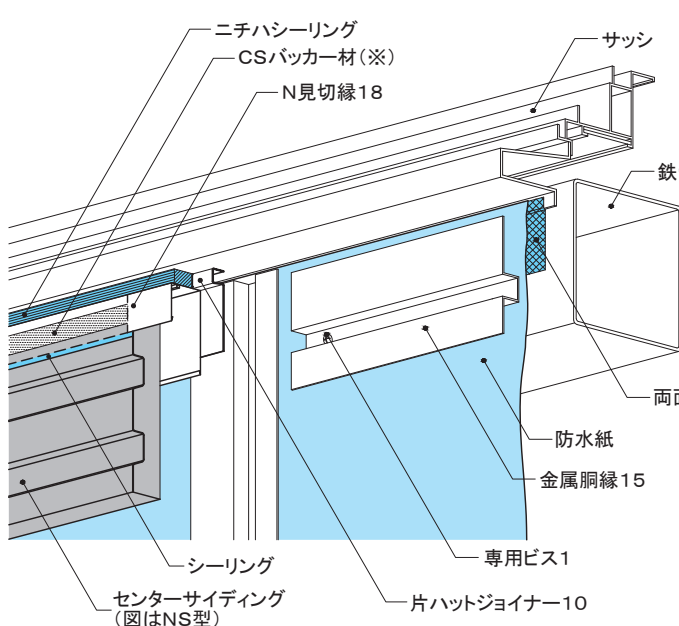
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 金属胴縁15を図のように施工後、鋼板止水部材を金属胴縁15に取り付けます。
- 開口部上側は水抜き穴のあるN端部カバーを使用します。見切縁を使用する場合は、水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
- N端部カバーとサッシとの取り合い部に、10mm程度の隙間を設けて施工します。
- センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、CSバック材を貼り付けます。(※)
- サッシ上部は、端部から50mm程度、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを施工します。



8) 開口部

② 下側 N見切縁18

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- N見切縁18とサッシとの取り合い部は、片ハットジョイナー10を施工します。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合は、必要に応じてCSバック材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。(※)
- センターサイディングを表面から留め付ける場合は、専用ビス4で留め付けます。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。



標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図

木造編
センターサイディング

鉄骨造 金属胴縁編
センターサイディング

鉄骨造 直張り編
センターサイディング

標準施工法
センター化粧幕板

標準施工法
センタールーフ

納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

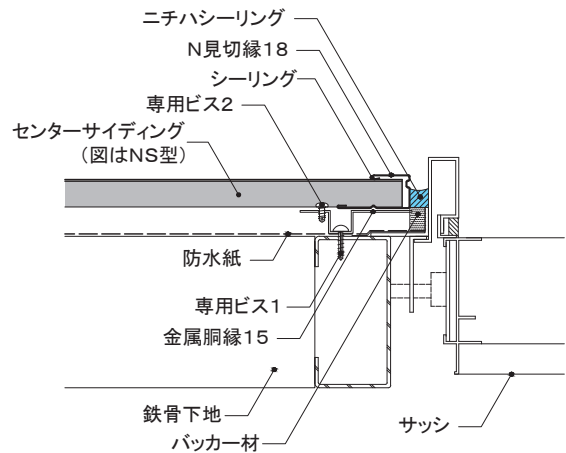
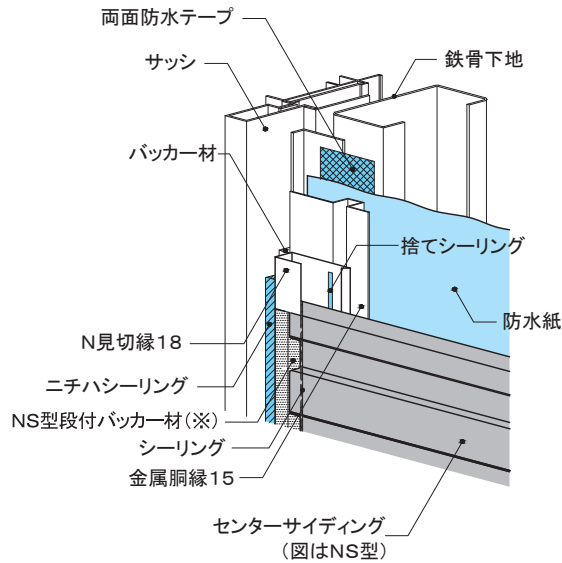
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	横	縦	横

8) 開口部

③左右側 N見切縁18

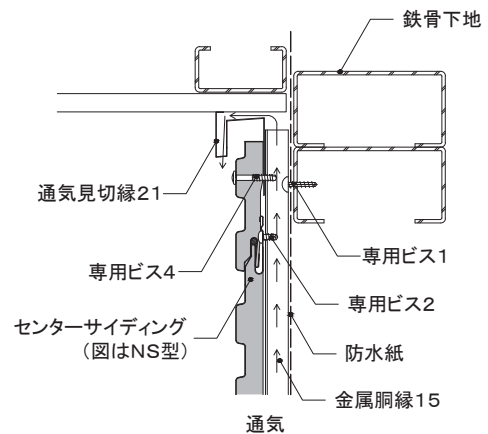
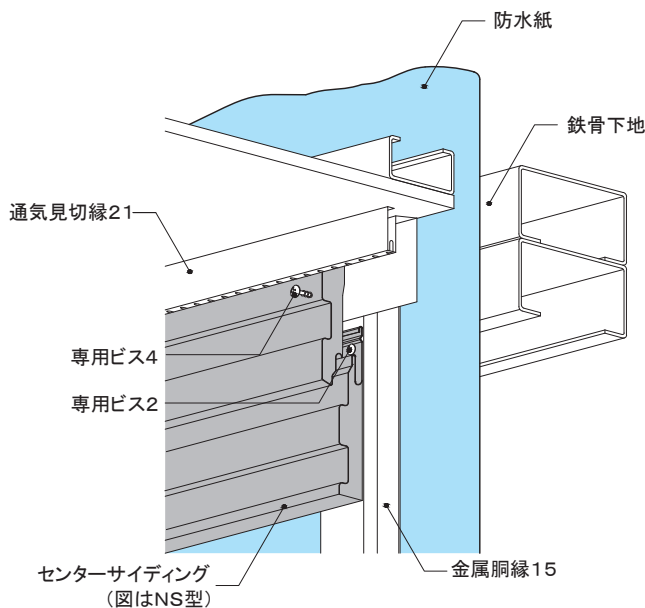
- 開口部周りには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- N見切縁18とサッシの取り合い部は、バッカー材を取り付けます。
- N見切縁18に、図のように捨てシーリングを施工します。
- センターサイディング端部にNS型段付バッカー材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。(※)
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。



9) 軒天部

①通気見切縁21

- センターサイディング施工前に、通気見切縁21を図の位置に取り付けます。
- センターサイディングを表面から留め付ける場合は、専用ビス4で胴縁ごとに留め付けます。

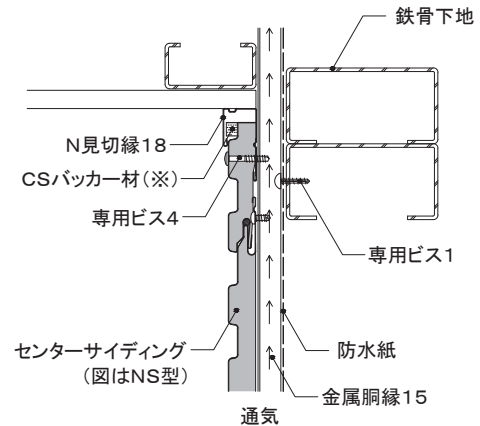
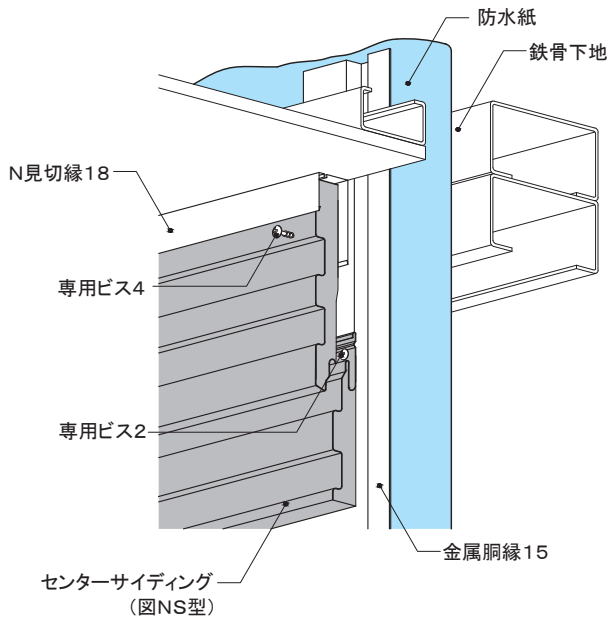


センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	縦	横

9) 軒天部

②N見切縁18

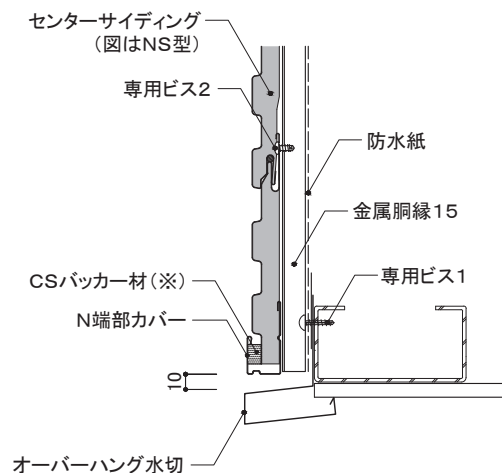
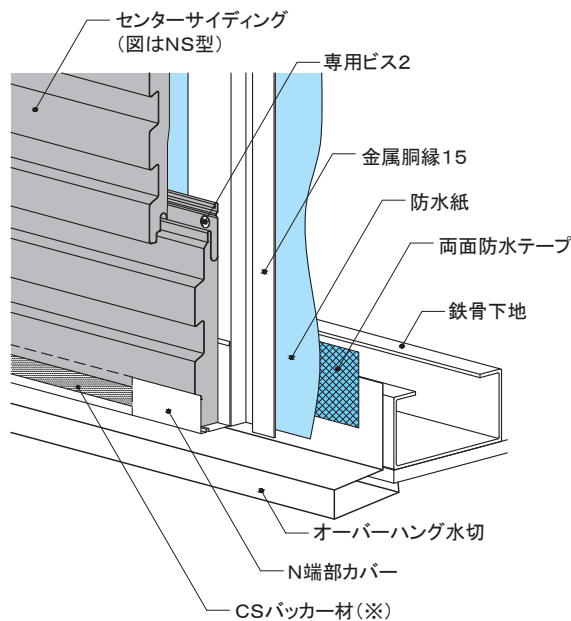
- 通気が小屋裏へ抜けるように軒天工事前に先行して、防水紙張りと同縁下地組みを行います。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合は、必要に応じてCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングをN見切縁18に差し込み、専用ビス4で胴縁ごとに表面から留め付けます。



10) オーバーハング部

オーバーハング水切+N端部カバー

- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工し、両面防水テープで防水紙を貼り付けます。
- センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、必要に応じてCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- N端部カバーとオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。



標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図

木造編
センターサイディング

鉄骨造
金属胴縁編
センターサイディング

鉄骨造
直張り編
センターサイディング

標準施工法
センター化粧石膏板

標準施工法
センタールーフ

納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

6-3 納まり詳細図

鉄骨下地縦組

金属胴縁縦組

サイディング横張り

1)基本構成図・下地組図	
2)主要部材一覧表	
3)土台部	通気土台水切
4)上下接合部	嵌合
5)左右接合部	目地鋼板受け+NS目地カバー
6)入隅部	N見切縁18
7)出隅部	S出隅鋼板受け18+S出隅カバー
8)開口部	①上側 N端部カバー ②下側 N見切縁18 ③左右側 N見切縁18
9)軒天部	①通気見切縁21 ②N見切縁18
10)オーバーハング部	オーバーハング水切+N端部カバー



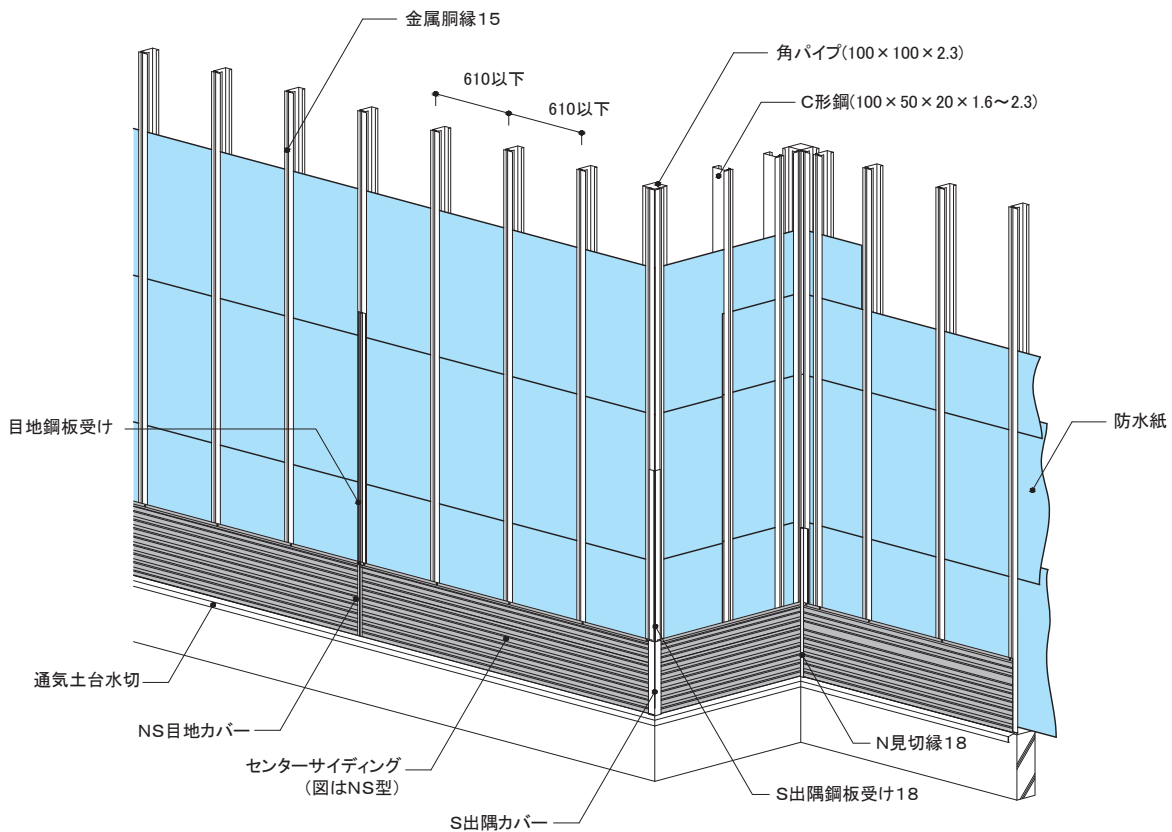
本施工方法は防耐火構造の大臣認定を取得していません。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	縦	横

1) 基本構成図・下地組図

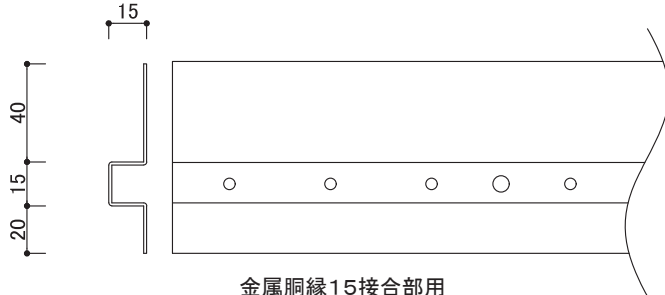
- 鉄骨下地は610mm以下の間隔とします。
- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 防水紙は横張りとし、下から順に張り上げます。
- 金属胴縁15は610mm以下の間隔で配置し、専用ビス1を使用して、610mm以下の間隔で鉄骨下地に留め付けます。
- センターサイディングは専用ビス2を用いて、金属胴縁15に610mm以下の間隔で留め付けます。

※本施工方法は防耐火構造の大臣認定を取得しておりません。



2) 主要部材一覧表

■金属胴縁15接合部用



金属胴縁15接合部用
【品番:KN2060】
材質:高耐食めつき鋼板 厚み:1.2mm 長さ:2,990mm
備考:専用ビス1で鉄骨下地へ固定

■専用ビス1

(金属胴縁15留付ビス)



ステンステクスネジ
【品番:JK1140】
材質:ステンレス
サイズ:φ4mm×19mm

※各部材は、2024年2月時点のものです。最新の情報は、NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図

木造編
センターサイディング

鉄骨造
センターサイディング

鉄骨造
直張り編

標準施工法
センター化粧石膏板

標準施工法
センタールーフ

納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

センターサイディング 18mm厚品

下地

鉄骨下地方向

金属胴縁方向

張り方向

鉄骨下地

縦

縦

横

2) 主要部材一覧表

■専用ビス2 (本体留付ビス)



ステンステクスネジ
【品番:JK1510】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.5mm×10mm

■専用ビス3 (付属部材留付ビス)



平頭ねじ
【品番:KN65】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.8mm×13mm

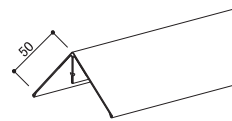
■専用ビス4 (表面留付ビス)

軒天部、笠木部などおよび補強工法での
センターサイディング表面留め用ビス



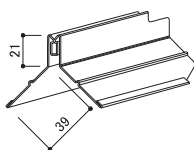
ステンレドリルビス
【品番:JK1740】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.5mm×27mm

■出隅カバー



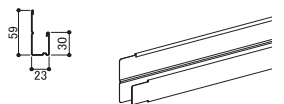
S出隅カバー
【品番:ADS2****】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■出隅鋼板受け



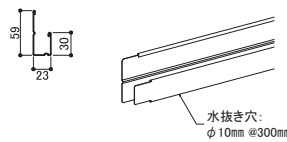
S出隅鋼板受け18
【品番:ADU1F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
働き長さ:3,030mm

■見切縁



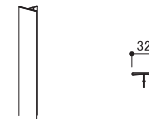
N見切縁18
【品番:AMKEF0**】
【品番:AMKGF0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■端部カバー



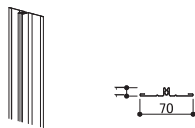
N端部カバー
【品番:AMKFF0**】
【品番:AMKHF0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm
水抜き穴:φ10mm @ 300mm

■目地カバー



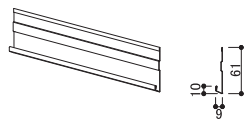
NS目地カバー
【品番:AMJ3F0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■目地受け



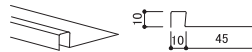
目地鋼板受け
【品番:AMU6F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
働き長さ:3,030mm

■スターター



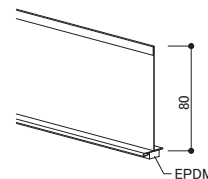
ヨコ用スターター
【品番:AST2F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
長さ:3,030mm

■片ハットジョイナー10



片ハットジョイナー10
【品番:FHK1110R】
材質:フッ素樹脂コート高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.3mm、長さ:2,000mm

■鋼板止水部材



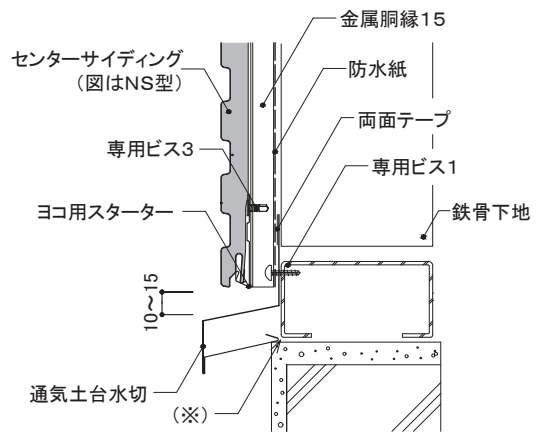
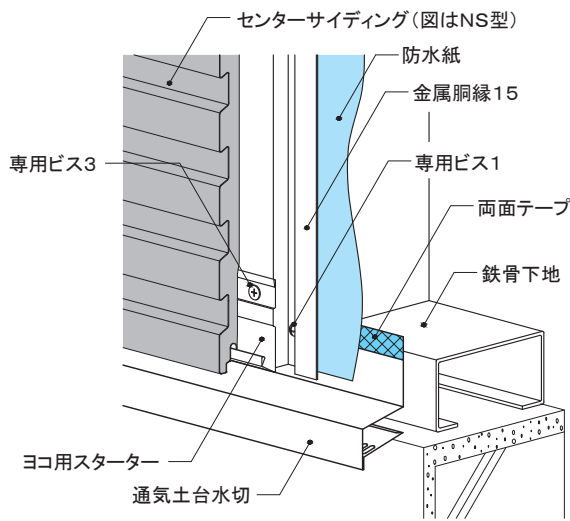
鋼板止水部材
【品番:KE5100】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 長さ:3,030mm

※各工法の納まり図例にて使用される主要な部材例です。(2024年2月時点)
その他の部材および部材の最新情報は、NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	縦	横

3) 土台部	通気土台水切
--------	--------

- 通気土台水切は、胴縁組みの前に、鉄骨下地へ500mm以下の間隔で専用ビス3を用いて水平に留め付けます。
- 金属胴縁15は鉄骨下地に専用ビス1を使用し、610mm以下の間隔で留め付けます。
- ヨコ用スターターは専用ビス3で金属胴縁15ごとに水平に留め付けます。
- センターサイディング下端と通気土台水切の間に、10～15mmの隙間を設けます。
- センターサイディングを専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



※吹き上げなどによる雨水の浸入を防ぐため、止水処理が確実に行われていることを確認してください。

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

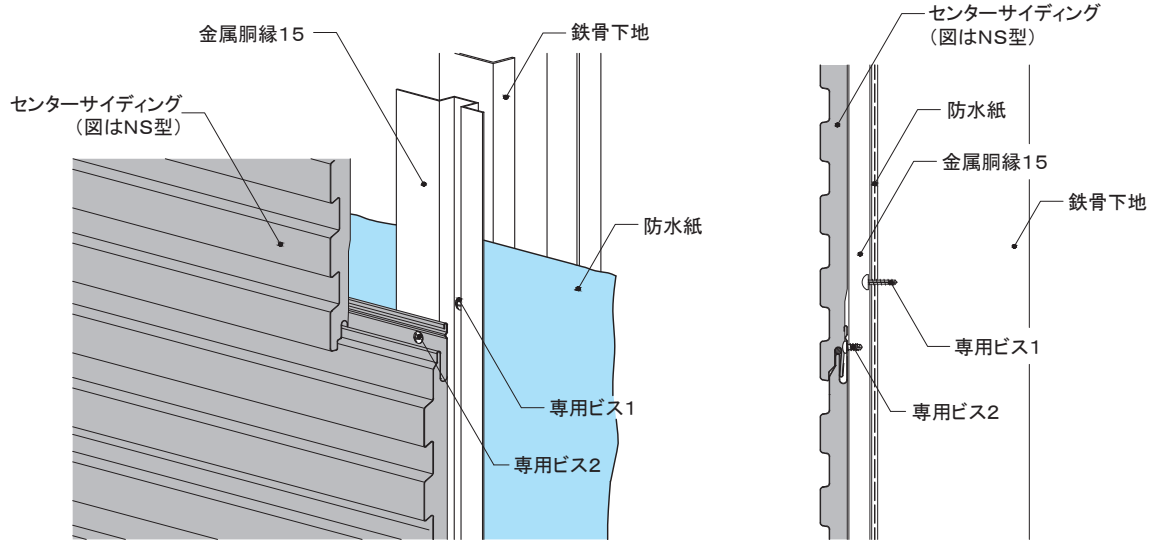
センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	縦	横

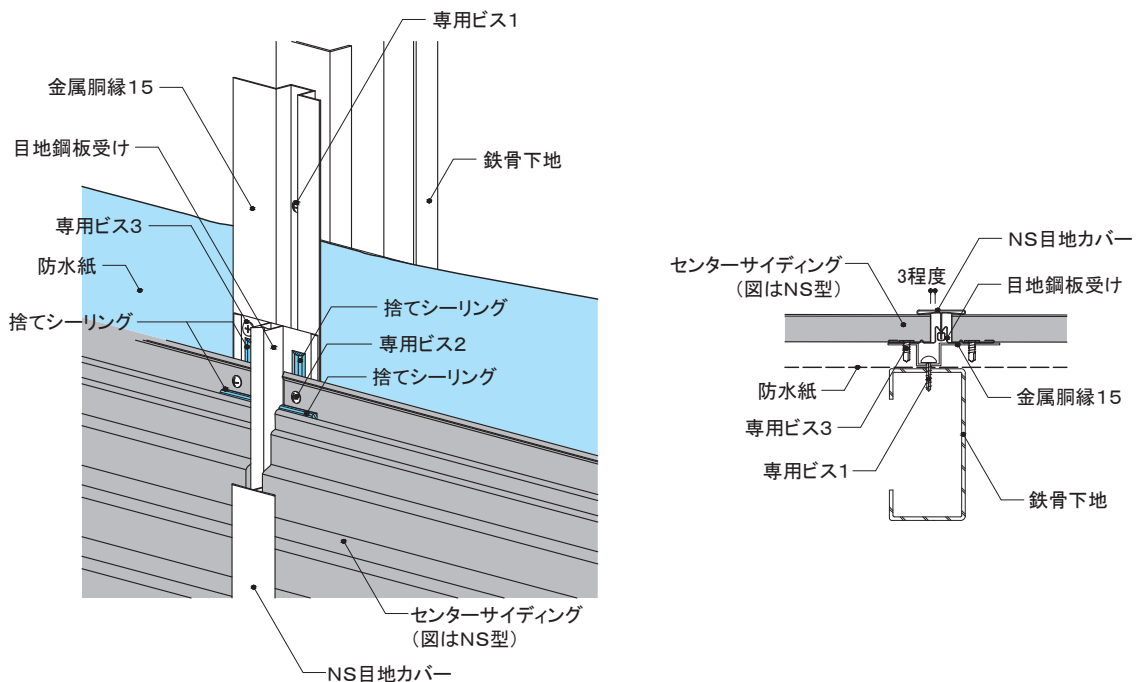
4) 上下接合部 嵌合

- センターサイディングは実を確実に嵌合させ、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認しながら施工します。



5) 左右接合部 目地鋼板受け+NS目地カバー

- 目地鋼板受けは専用ビス3で取り付け、両側端部に捨てシーリングを施工します。
- センターサイディングは専用ビス2で留め付けます。センターサイディングと目地鋼板受けは図のように3mm程度隙間を設けます。
- NS目地カバーを目地鋼板受けに差し込みます。

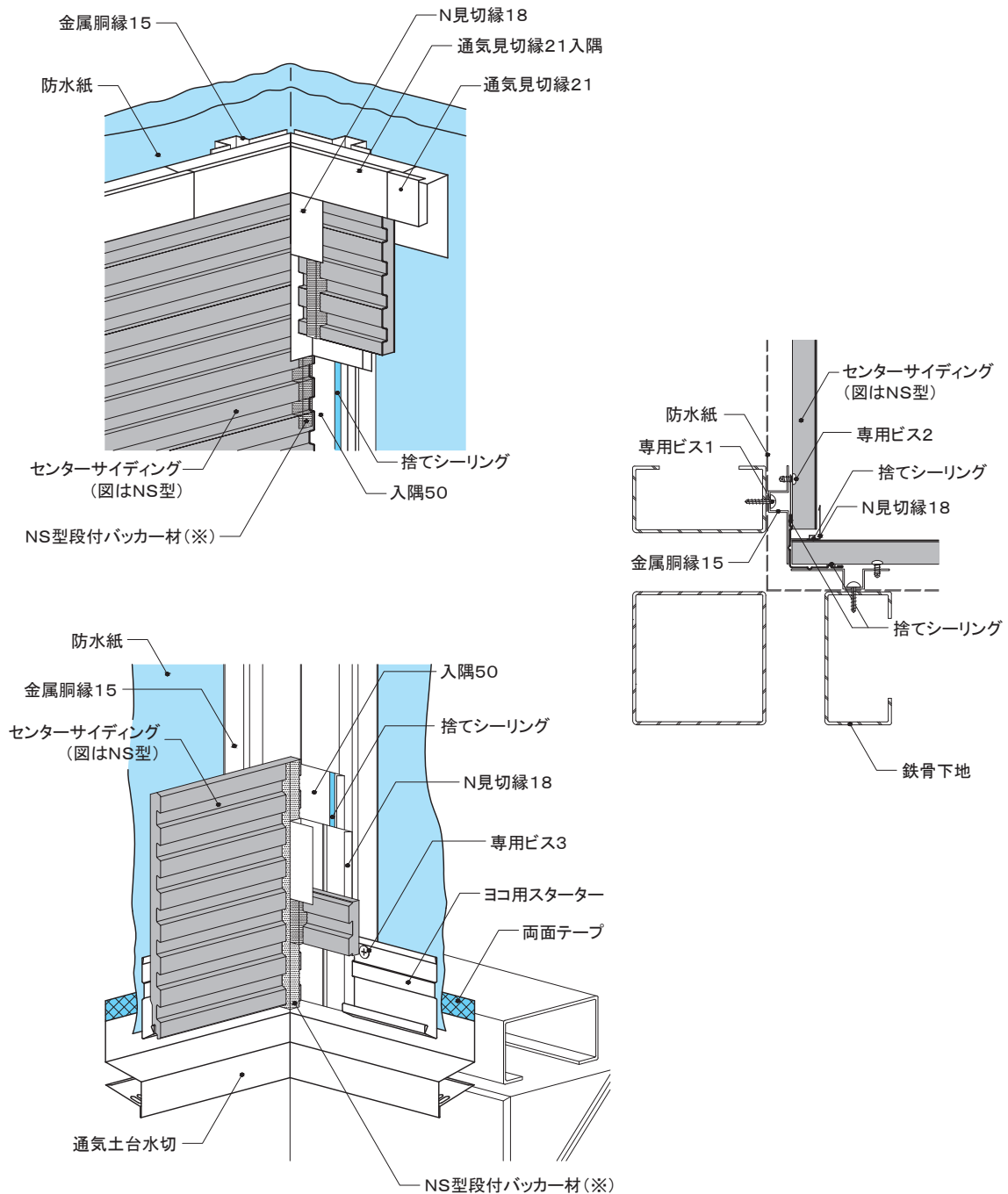


センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	縦	横

6) 入隅部

N見切縁18

- 入隅50を取り付け、両側端部に捨てシーリングを施工します。
- 各センターサイディングの端部は必要に応じて、NS型段付バック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングは専用ビス2で留め付けます。
- 最上段のセンターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から専用ビス4で留め付けます。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧石膏板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

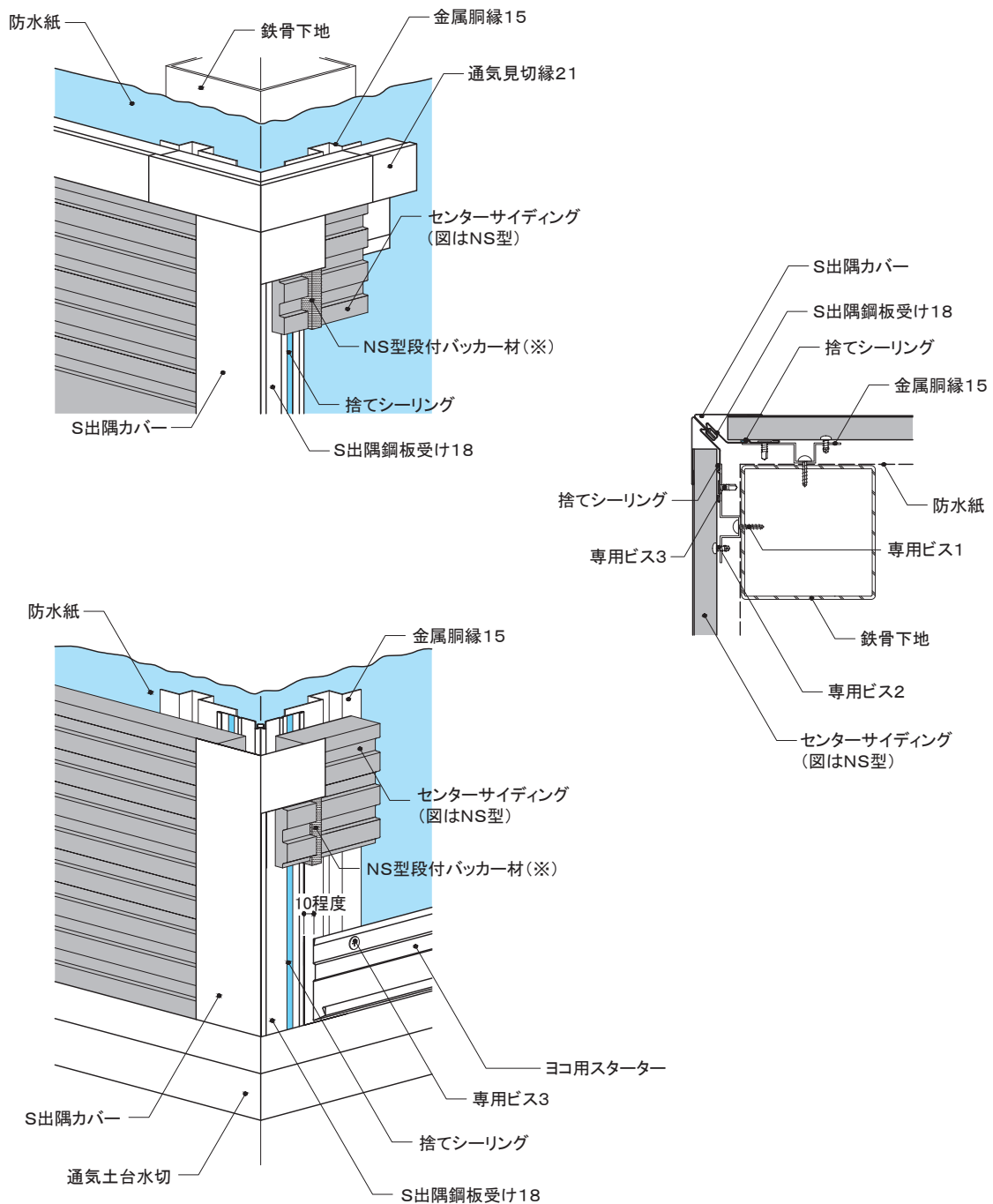
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	縦	縦	横

7) 出隅部

S出隅鋼板受け18+S出隅カバー

- S出隅鋼板受け18は専用ビス3を用いて、通気土台水切から10~15mmの隙間を設けて取り付けます。
- S出隅鋼板受け18の両側端部に捨てシーリングを施工します。
- ヨコ用スターターをS出隅鋼板受け18から10mm程度離して取り付けます。
- 各センターサイディング端部に、必要に応じてNS型段付バック材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングは専用ビス2で留め付けます。
- 最上段のセンターサイディングは通気見切縁21に差し込み、表面から専用ビス4で留め付けます。
- S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。



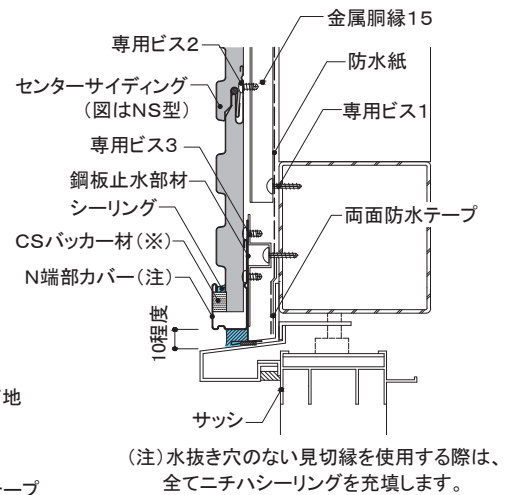
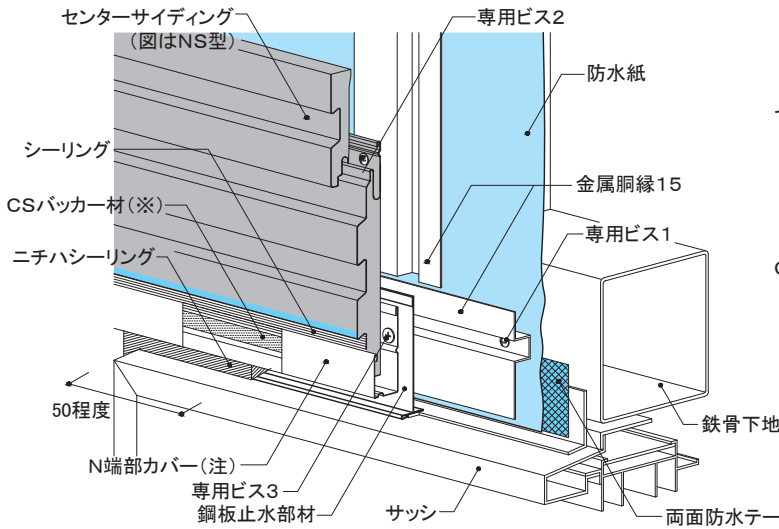
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	縦	金属胴縁方向	縦	張り方向	横
----	------	--------	---	--------	---	------	---

8) 開口部

① 上側 N端部カバー

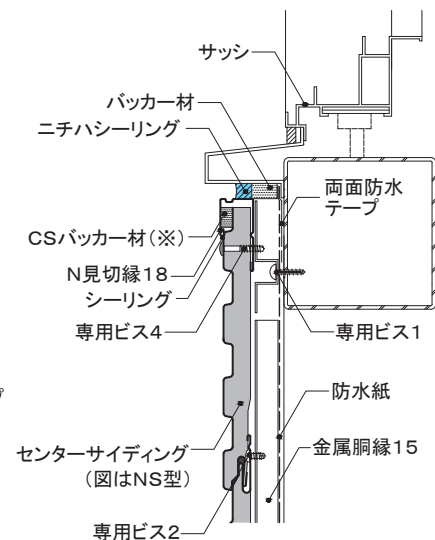
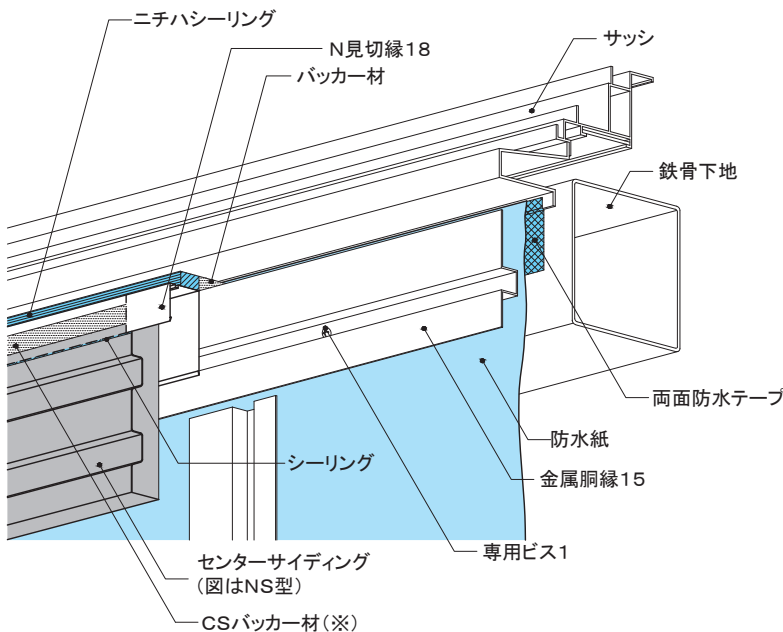
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 金属胴縁15を図のように施工後、鋼板止水部材を金属胴縁15に取り付けます。
- 開口部上側は水抜き穴のあるN端部カバーを使用します。見切縁を使用する場合は、水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
- N端部カバーとサッシとの取り合い部に、10mm程度の隙間を設けて施工します。
- センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、CSバック材を貼り付けます。(※)
- サッシ上部は、端部から50mm程度、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを施工します。



8) 開口部

② 下側 N見切縁18

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- N見切縁18とサッシとの取り合い部に、バック材を取り付けます。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合は、CSバック材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。(※)
- センターサイディングを表面から留め付ける場合は、専用ビス4で留め付けます。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

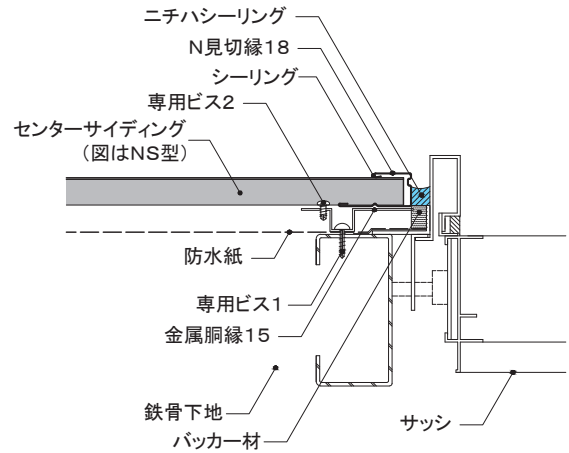
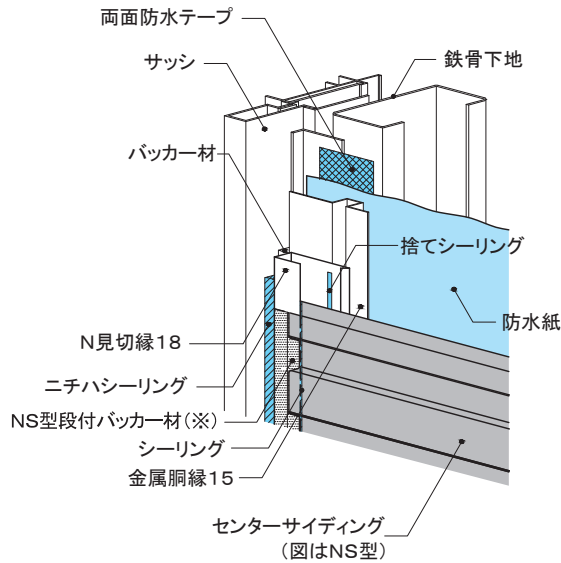
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	縦	縦	横

8) 開口部

③ 左右側 N見切縁18

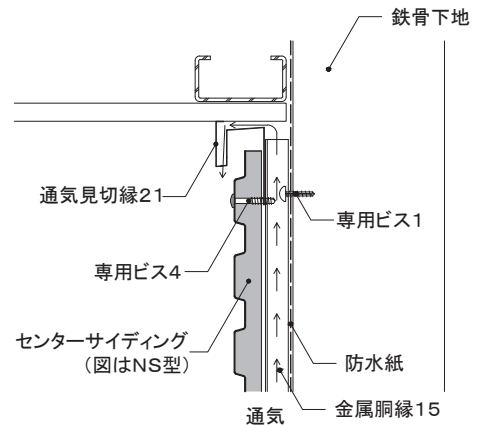
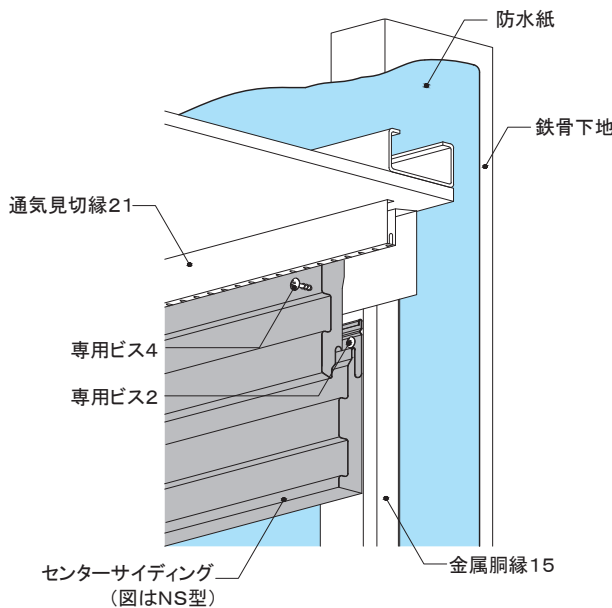
- 開口部周りには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- N見切縁18とサッシの取り合い部は、バック材を取り付けます。
- N見切縁18に、図のように捨てシーリングを施工します。
- センターサイディング端部にNS型段付バック材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。



9) 軒天部

① 通気見切縁21

- センターサイディング施工前に通気見切縁21を図の位置に取り付けます。
- センターサイディングを表面から留め付ける場合は、専用ビス4で胴縁ごとに留め付けます。

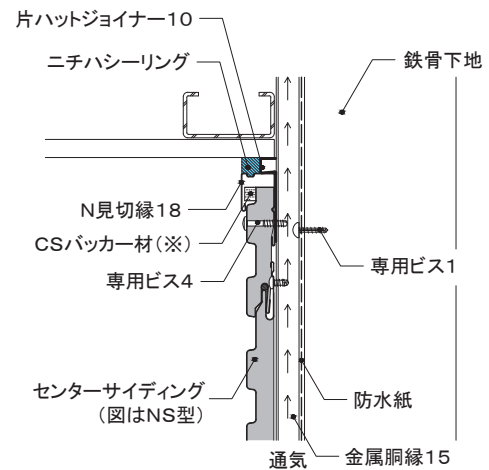
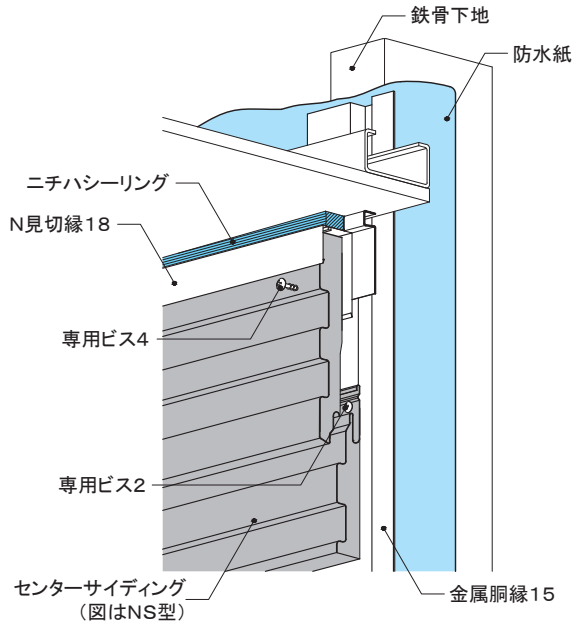


センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	縦	横

9) 軒天部

②N見切縁18

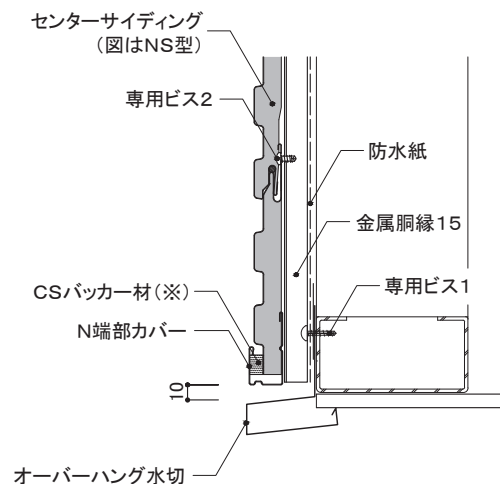
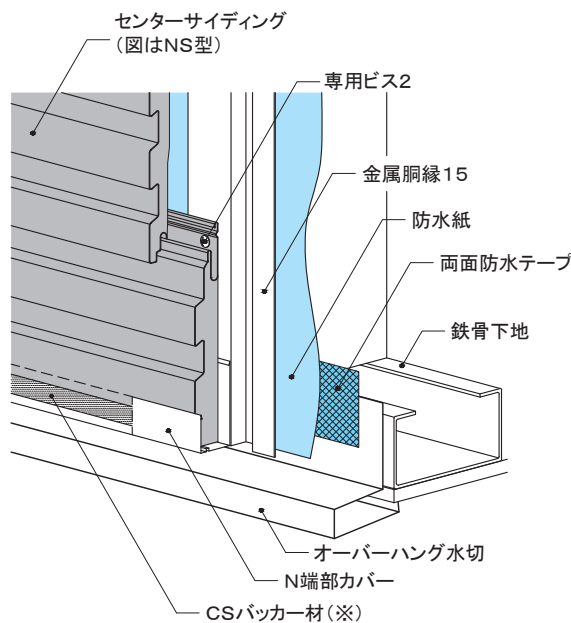
- 通気が小屋裏へ抜けるように軒天工事前に先行して、防水紙張りと同縁下地組みを行います。
- センターサイディング上端が柄凹部となる場合は、必要に応じてCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングをN見切縁18に差し込み、専用ビス4で胴縁ごとに表面から留め付けます。
- 軒天材とN見切縁18の取り合い部は、片ハットジョイナー10を用いて10mm程度の隙間を設けて施工し、ニチハシーリングを充填します。



10) オーバーハング部

オーバーハング水切+N端部カバー

- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工し、両面防水テープで防水紙を貼り付けます。
- センターサイディング下端が柄凹部となる場合は、必要に応じてCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- N端部カバーとオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

6-4 納まり詳細図

鉄骨下地横組

金属胴縁横組

サイディング縦張り

1)基本構成図・下地組図	
2)主要部材一覧表	
3)土台部	通気土台水切
4)上下接合部	中間水切18
5)左右接合部	嵌合
6)入隅部	N見切縁18
7)出隅部	S出隅鋼板受け18+S出隅カバー
8)開口部	①上側 N端部カバー ②下側 N見切縁18 ③左右側 N見切縁18
9)軒天部	①通気見切縁21 ②シーリング
10)オーバーハング部	オーバーハング水切



本施工方法は防耐火構造の大臣認定を取得していません。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧石膏板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

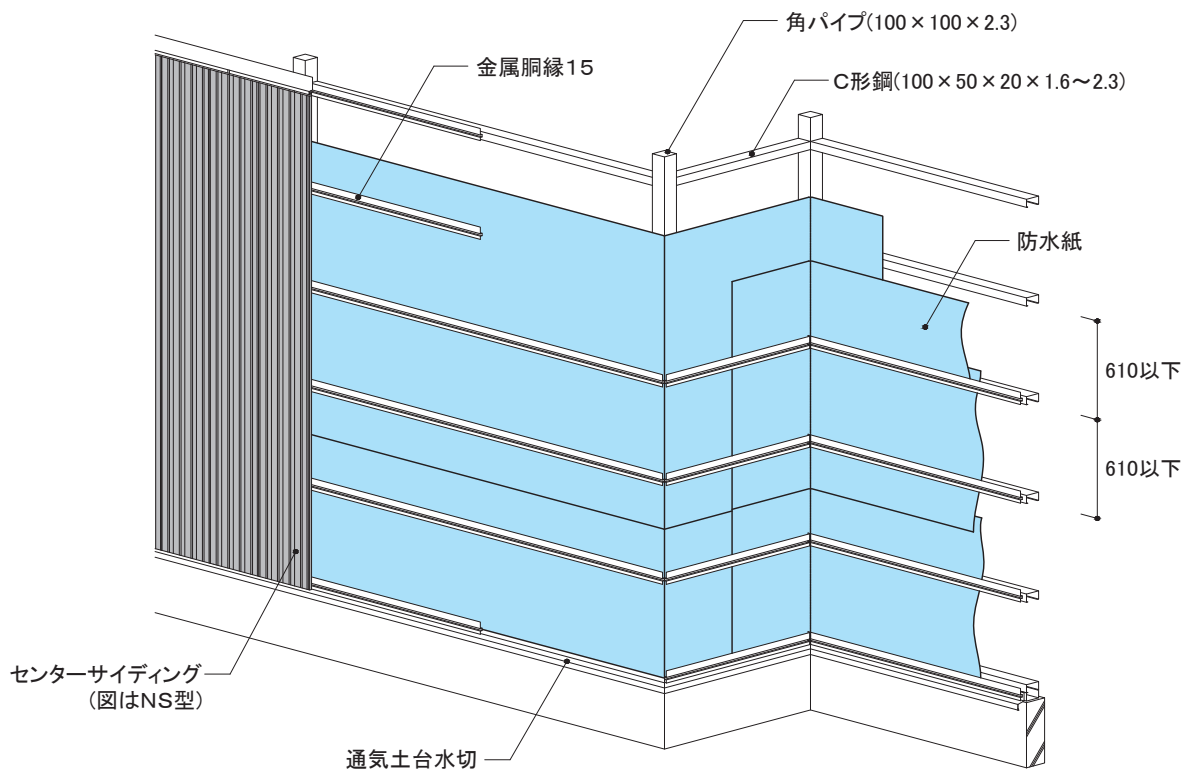
センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

1) 基本構成図・下地組図

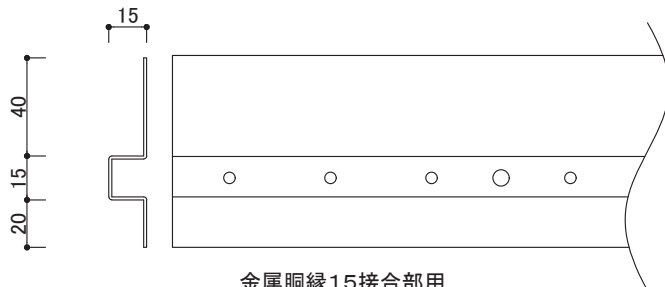
- 鉄骨下地は610mm以下の間隔とします。
- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 防水紙は横張りとし、下から順に張り上げます。
- 金属胴縁15は610mm以下の間隔で配置し、専用ビス1を使用して、610mm以下の間隔で鉄骨下地に留め付けます。
- センターサイディングは専用ビス2を用いて、金属胴縁15に610mm以下の間隔で留付けます。

※本下地組は防耐火構造の大臣認定を取得していません。



2) 主要部材一覧表

■金属胴縁15 接合部用



金属胴縁15接合部用
【品番:KN2060】
材質:高耐食めつき鋼板 厚み:1.2mm 長さ:2,990mm
備考:専用ビス1で鉄骨下地へ固定

■専用ビス1 (金属胴縁15留付ビス)






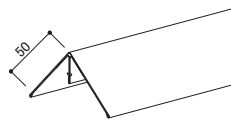
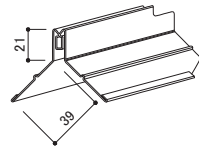
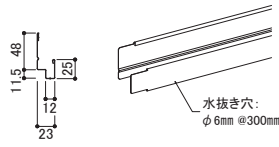
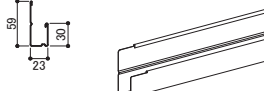
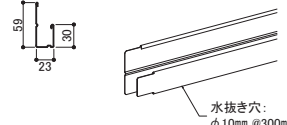
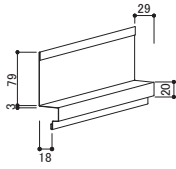
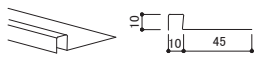
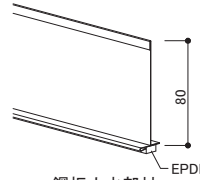
ステンステクスネジ
【品番:JK1140】
材質:ステンレス
サイズ:φ4mm×19mm

※各部材は、2024年2月時点のものです。最新の情報は、NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	横	横	縦

2) 主要部材一覧表

<p>■専用ビス2 (本体留付ビス)</p>  <p>ステンステクスネジ 【品番:JK1510】 材質:ステンレス サイズ:φ4.5mm×10mm</p>	<p>■専用ビス3 (付属部材留付ビス)</p>  <p>平頭ねじ 【品番:KN65】 材質:ステンレス サイズ:φ4.8mm×13mm</p>	<p>■専用ビス4 (表面留付ビス)</p> <p>軒天部、笠木などおよび補強工法でのセンターサイディング表面留め用ビス</p>  <p>ステンレドリルビス 【品番:JK1740】 材質:ステンレス サイズ:φ4.5mm×27mm</p>	<p>■出隅カバー</p>  <p>S出隅カバー 【品番:ADS2****】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm</p>
<p>■出隅鋼板受け</p>  <p>S出隅鋼板受け18 【品番:ADU1F00A】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■タテ用スターター</p>  <p>水抜き穴: φ6mm @300mm</p> <p>タテ用スターター 【品番:AST5F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm 水抜き穴:φ6mm @300mm 備考:左右継ぎ手加工あり</p>	<p>■見切縁</p>  <p>N見切縁18 【品番:AMKEF0**】 【品番:AMKGF0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm</p>	<p>■端部カバー</p>  <p>水抜き穴: φ10mm @300mm</p> <p>N端部カバー 【品番:AMKFF0**】 【品番:AMKHFO**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm 水抜き穴:φ10mm @300mm</p>
<p>■中間水切</p>  <p>中間水切18 【品番:ATM6F0**】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p>	<p>■片ハットジョイナー10</p>  <p>片ハットジョイナー10 【品番:FHK1110R】 材質:フッ素樹脂コート高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.3mm、長さ:2,000mm</p>	<p>■鋼板止水部材</p>  <p>鋼板止水部材 【品番:KE5100】 材質:塗装高耐食GLめっき鋼板 厚み:0.35mm 長さ:3,030mm</p> <p>EPDM</p>	

※各工法の納まり図例にて使用される主要な部材例です。(2024年2月時点)
その他の部材および各部材の最新情報は、NICHIIHA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

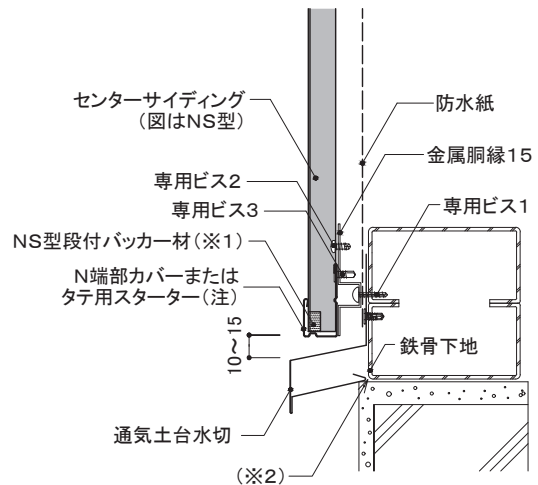
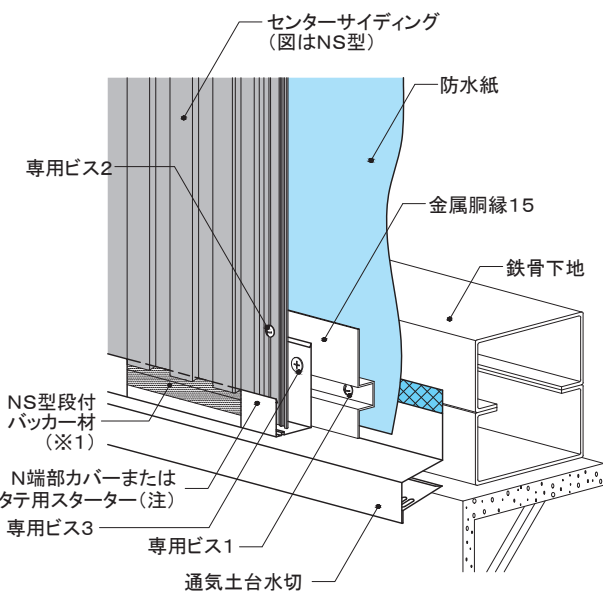
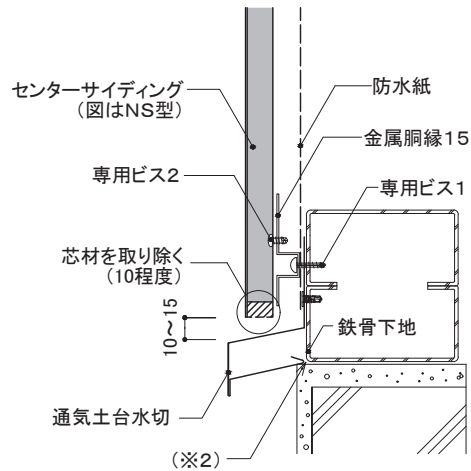
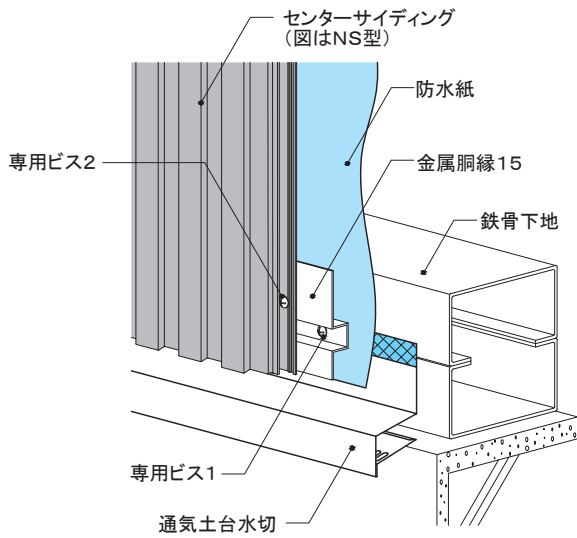
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

3) 土台部

通気土台水切

- 通気土台水切は、鉄骨下地に500mm以下の間隔で専用ビス3を用いて水平に留め付けます。
 - 金属胴縁15は鉄骨下地に専用ビス1を使用し、610mm以下の間隔で留め付けます。
 - センターサイディング下端はN端部カバーまたはタテ用スターターを使用するか、下端の芯材を10mm程度取り除きます。
 - N端部カバーまたはタテ用スターターを使用する場合、センターサイディング端部に必要に応じてNS型段付バッカー材 (ABK8Q0JL) を貼り付けます。(※1)
 - センターサイディング下端と通気土台水切の間に、10~15mmの隙間を設けます。
 - センターサイディングは、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製の部材を使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。



※2 吹き上げなどによる雨水の浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧葺板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

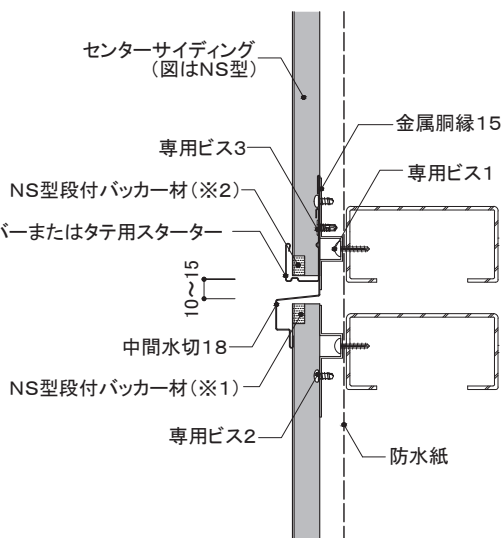
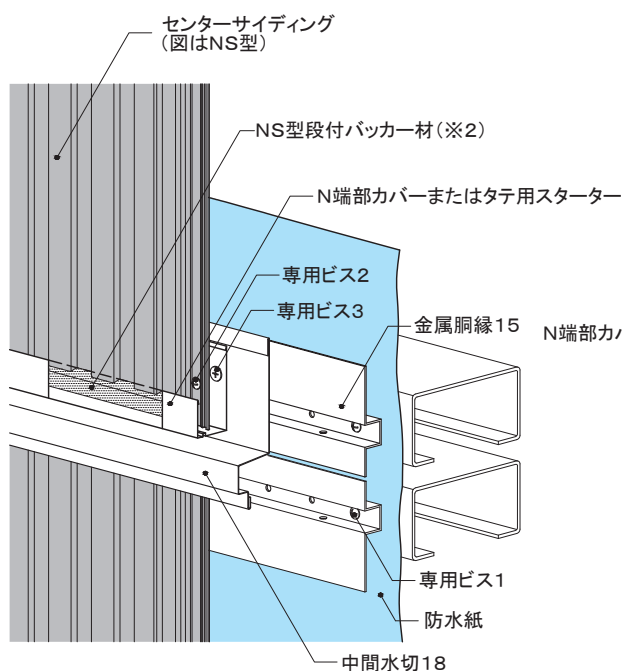
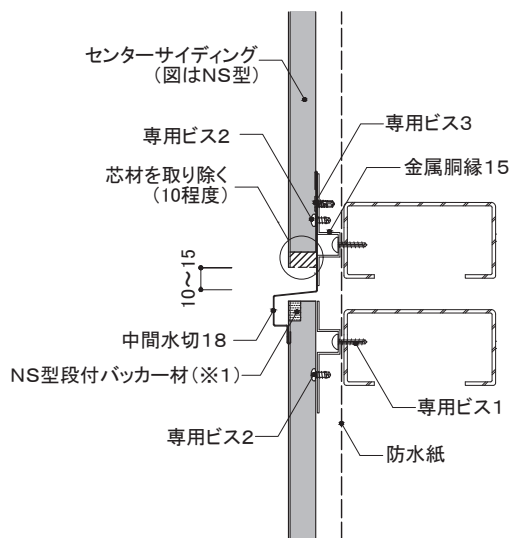
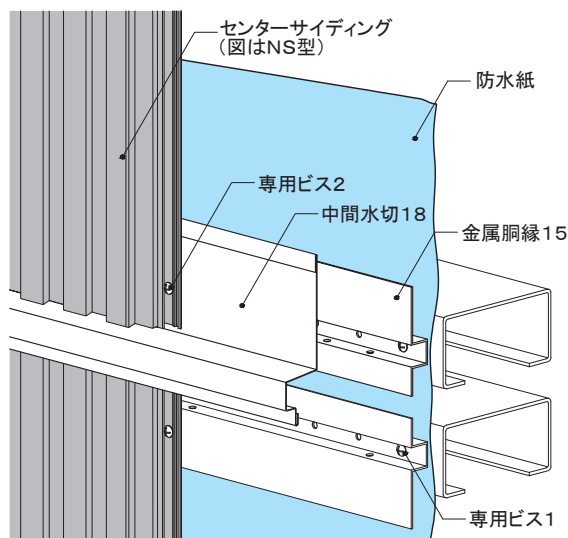
センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

4) 上下接合部 中間水切18

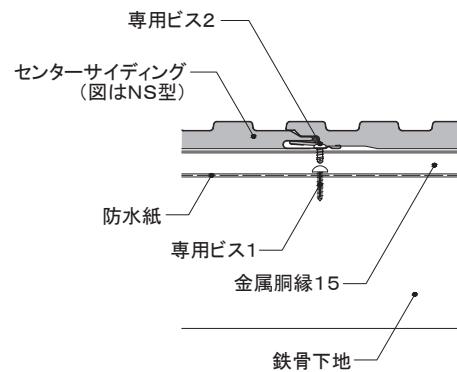
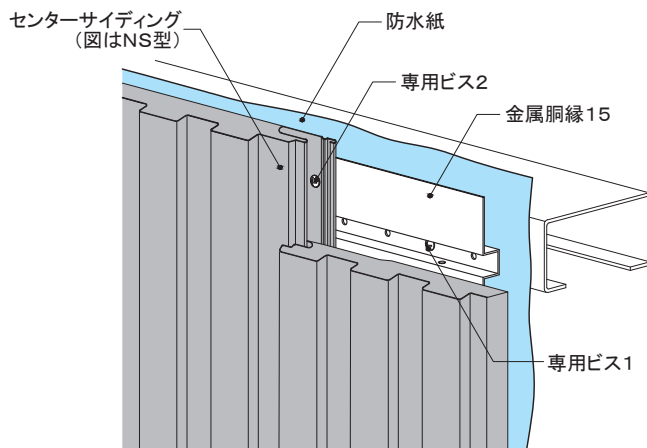
- 中間水切18の下側に施工するセンターサイディングの上端に、必要に応じてNS型段付パッカー材を貼り付けます。(※1)
- 中間水切18の上側に施工するセンターサイディングの下端はN端部カバーを使用するか、下端の芯材10mm程度取り除きます。
- N端部カバーまたはタテ用スターターを使用する場合、センターサイディング下端に必要に応じてNS型段付パッカー材 (ABK8Q0JL) を貼り付けます。(※2)
- 中間水切18と上側に施工するセンターサイディング下端の間に、10～15mmの隙間を設けます。
- センターサイディングを専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

5) 左右接合部	嵌合
----------	----

- センターサイディングは実を確実に嵌合させ、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と垂直を確認しながら施工します。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

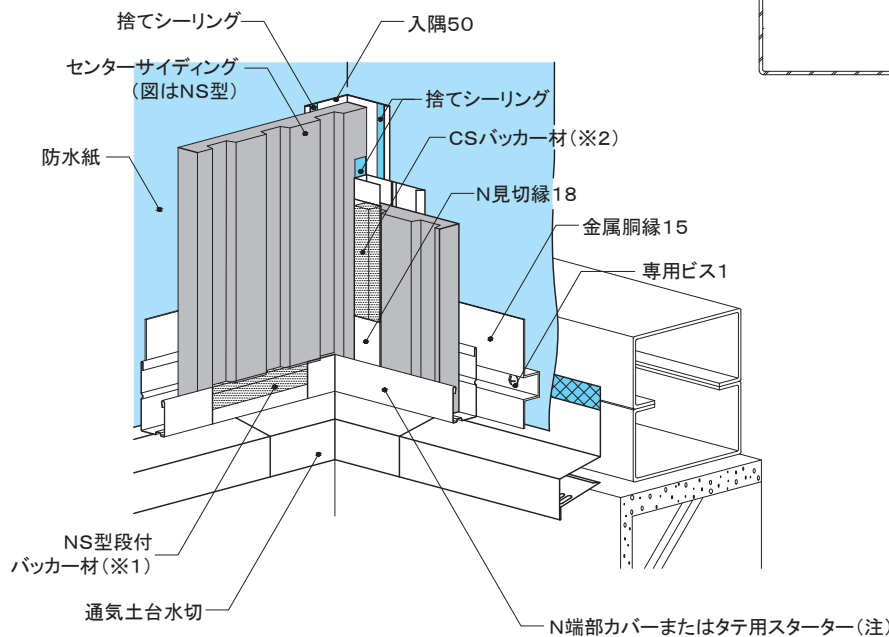
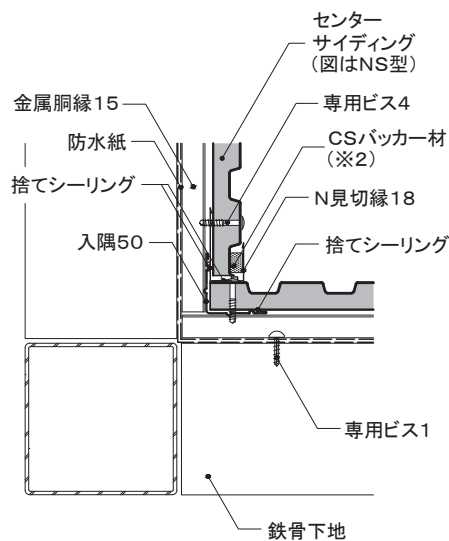
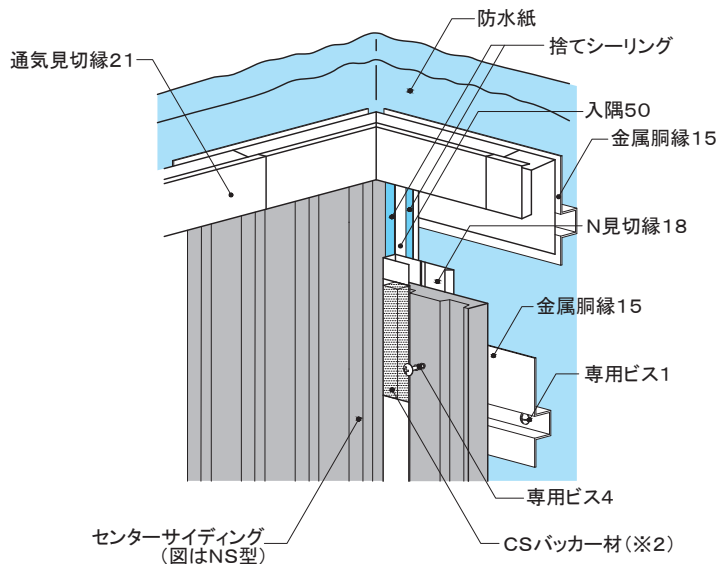
参考資料

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

6) 入隅部

N見切縁18

- 入隅50を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
 - センターサイディングの上下端に、必要に応じてNS型段付パッカー材(ABK8Q0JL)を貼り付け、N端部カバーおよび通気見切縁21に差し込みます。(※1)
 - 先施工側のセンターサイディングを施工後、図のように捨てシーリングを施工し、N見切縁18を取り付けます。
 - センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSパッカー材を貼り付けます。(※2)
 - センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス4で留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製の部材を使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。
なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付パッカー材は不要です。



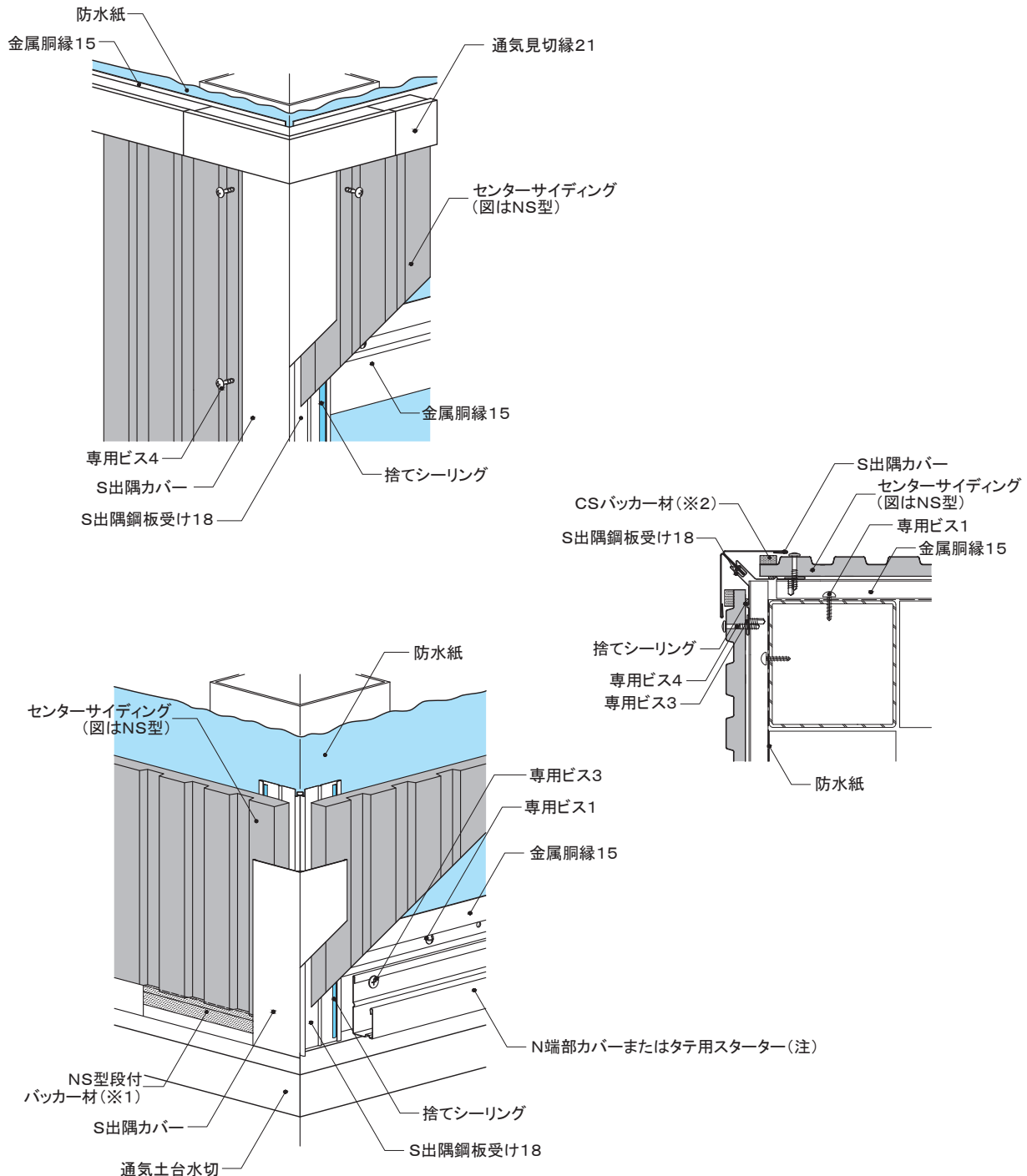
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

7) 出隅部

S出隅鋼板受け18+S出隅カバー

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。
 - センターサイディングの下端に、必要に応じてNS型段付バック材(ABK8Q0JL)を貼り付け、N端部カバーおよび通気見切縁21に差し込みます。(※1)
 - センターサイディング端部が柄凹部となりS出隅カバーと隙間ができる場合は、図のように必要に応じてCSバック材を貼り付けます。(※2)
 - 実部に留め付けられないセンターサイディングは表面から専用ビス4で留め付けます。
 - S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。
- (注) 降雪量の多い地域では鋼板製の部材を使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バック材は不要です。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

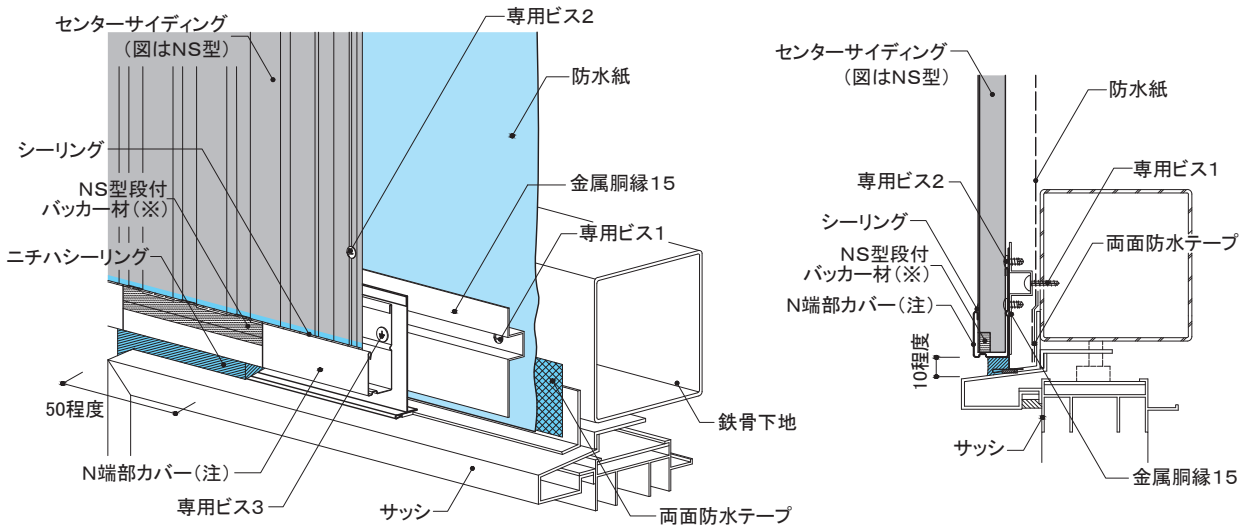
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	横	横	縦

8) 開口部

① 上側 N端部カバー

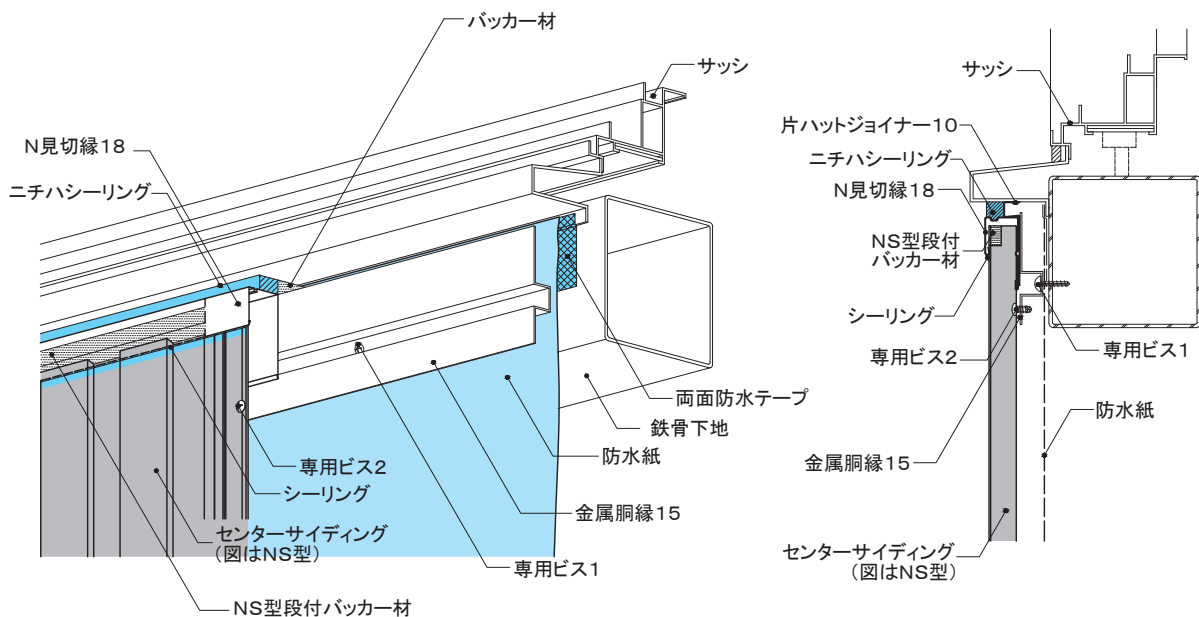
- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
 - 開口部上側は水抜き穴のあるN端部カバーを使用します。見切縁を使用する場合は、水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
 - N端部カバーとサッシとの取り合い部に、10mm程度の隙間を設けて施工します。
 - センターサイディング下端に、NS型段付バッカー材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
 - サッシ上部は、端部から50mm程度、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。
- (注) 水抜き穴のない見切縁を使用する際は、全てニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

② 下側 N見切縁18

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとN見切縁18の取り合い部に、バッカー材を取り付けます。
- センターサイディング上端に必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。
- センターサイディングは専用ビス2で実部に留め付けます。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。



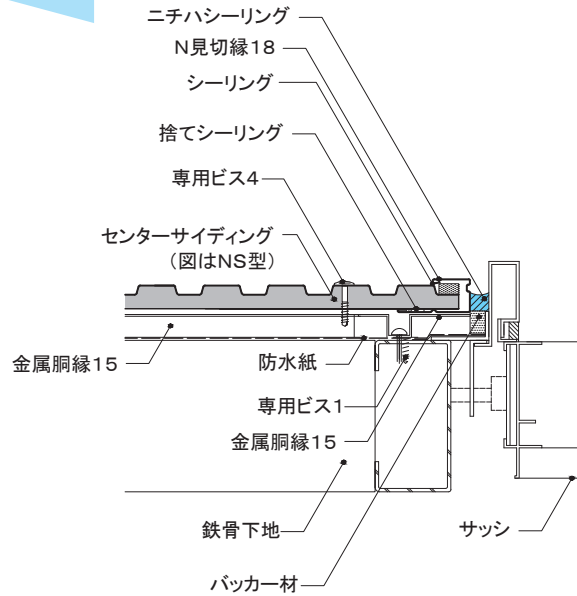
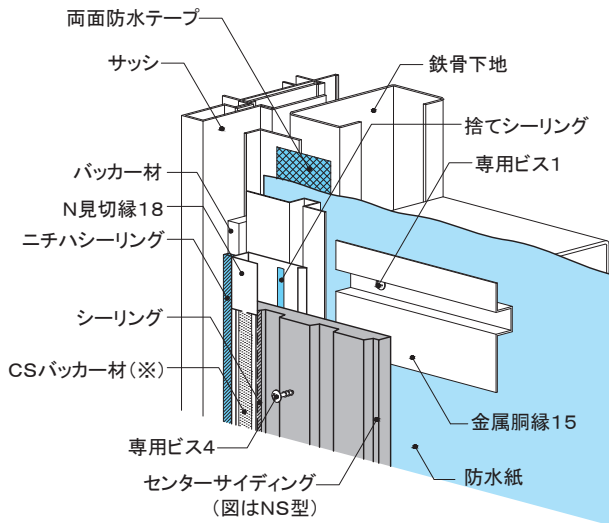
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

8) 開口部

③ 左右側 N見切縁18

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、バッカー材を用いて10mm程度の隙間を設けて施工します。マスキングテープで養生後、ニチハシーリングを充填します。
- 図のように捨てシーリングをN見切縁18に施工します。
- センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングの実部に留付ができない場合は、表面から専用ビス4で留め付けます。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

センターサイディング 18mm厚品

下地
鉄骨下地

鉄骨下地方向
横

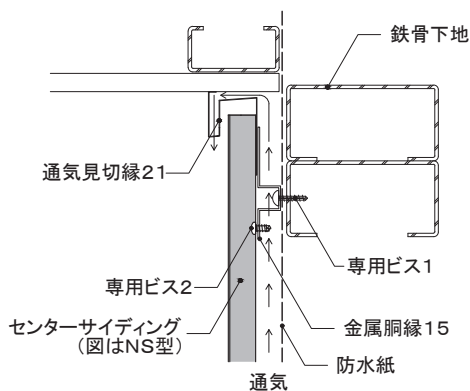
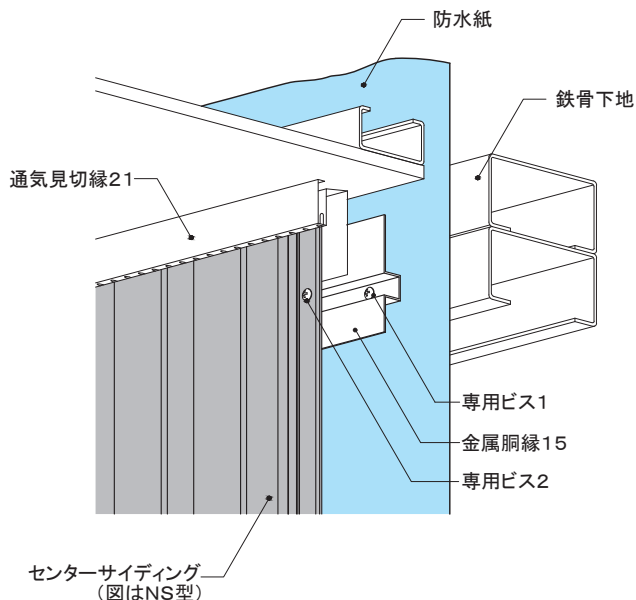
金属胴縁方向
横

張り方向
縦

9) 軒天部

① 通気見切縁21

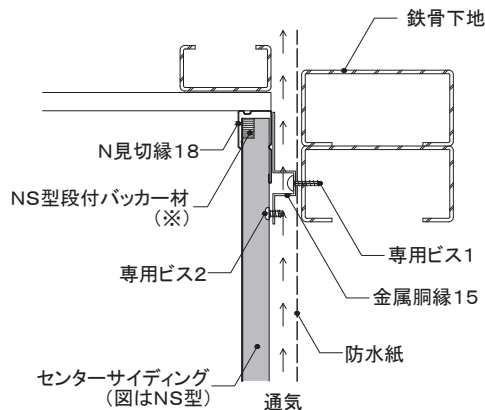
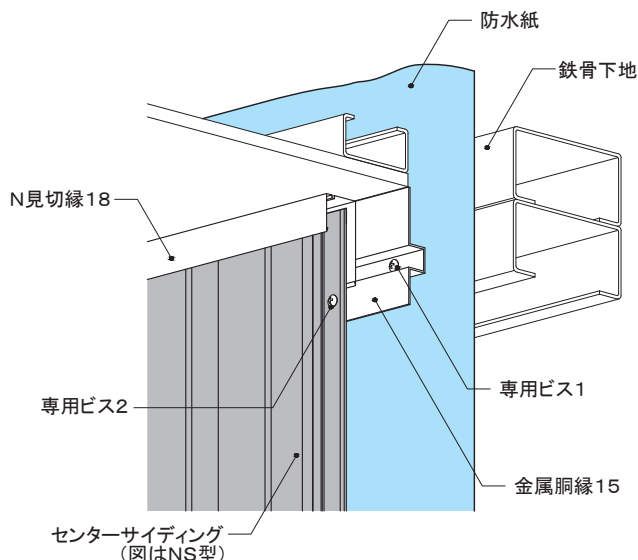
- センターサイディングを施工前に通気見切縁21を図の位置に取り付けます。
- センターサイディングを通気見切縁21に差し込み、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



9) 軒天部

② シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように軒天工事前に先行して、防水紙張りと同縁下地組みを行います。
- センターサイディング上端に、必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)



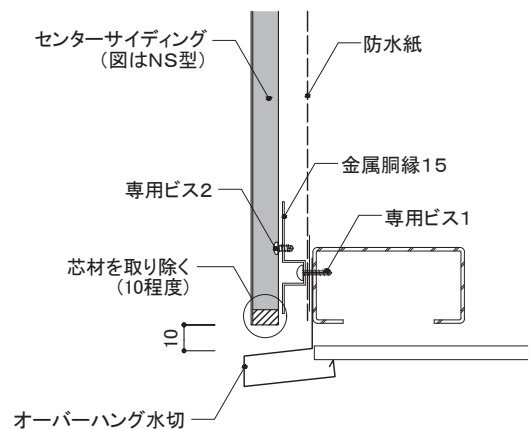
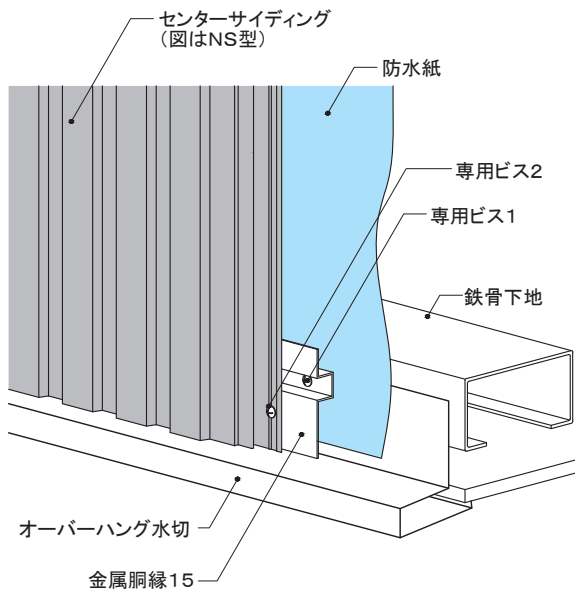
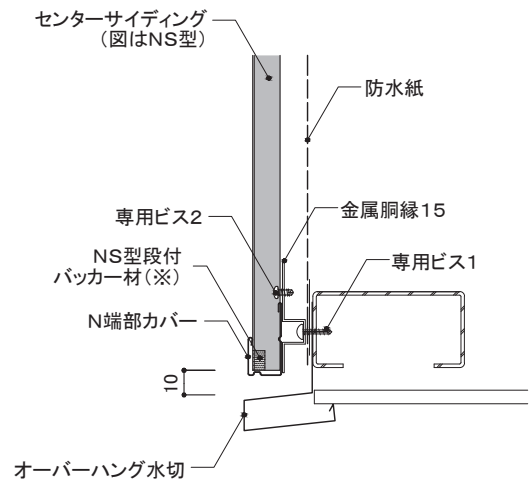
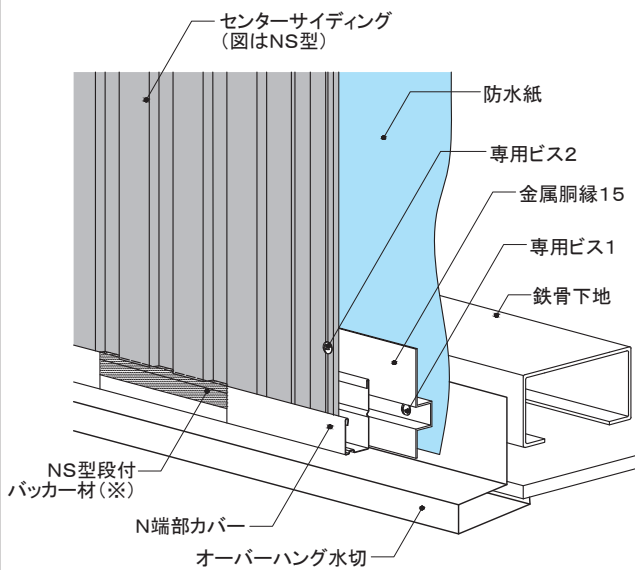
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	横	横	縦

10) オーバーハング部

オーバーハング水切

- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工します。
- センターサイディング下端はN端部カバーを使用するか、芯材を10mm程度取り除きます。
- N端部カバーを使用する場合は、センターサイディング下端に必要なに応じてNS型段付バック材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
- センターサイディング下端とオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。
- センターサイディングを専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

6-5 納まり詳細図

鉄骨下地縦組

金属胴縁横組

サイディング縦張り

1)基本構成図・下地組図	
2)主要部材一覧表	
3)土台部	通気土台水切
4)上下接合部	中間水切18
5)左右接合部	嵌合
6)入隅部	N見切縁18
7)出隅部	S出隅鋼板受け18+S出隅カバー
8)開口部	①上側 N端部カバー ②下側 N見切縁18 ③左右側 N見切縁18
9)軒天部	①通気見切縁21 ②シーリング
10)オーバーハング部	オーバーハング水切



本施工方法は防耐火構造の大臣認定を取得していません。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	横	縦

標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図
センターサイディング

木造編
センターサイディング

鉄骨造
金属胴縁編
センターサイディング

鉄骨造
直張り編
センターサイディング

標準施工法
センター化粧石膏板

標準施工法
センタールーフ

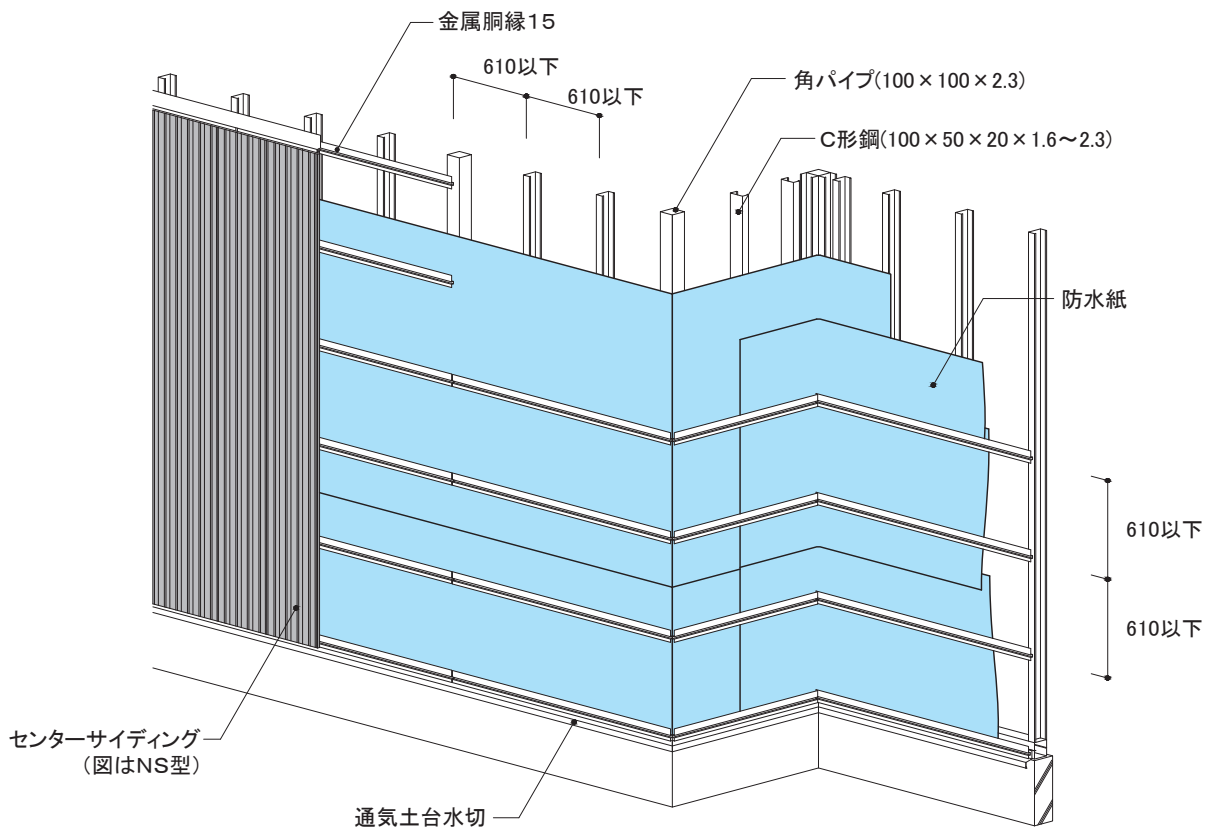
納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

1) 基本構成図・下地組図

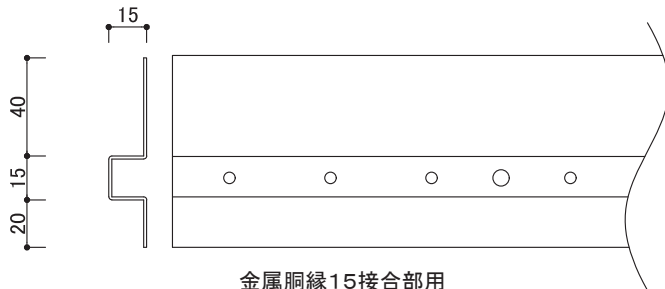
- 鉄骨下地は610mm以下の間隔とします。
- 通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
- 防水紙は横張りとし、下から順に張り上げます。
- 金属胴縁15は610mm以下の間隔で配置し、専用ビス1を使用して、610mm以下の間隔で鉄骨下地に留め付けます。
- センターサイディングは専用ビス2を使用して、金属胴縁15に610mm以下の間隔で留め付けます。

※本下地組は防耐火構造の大臣認定を取得していません。



2) 主要部材一覧表

■金属胴縁15 接合部用



金属胴縁15接合部用
【品番:KN2060】
材質:高耐食めつき鋼板 厚み:1.2mm 長さ:2,990mm
備考:専用ビス1で鉄骨下地へ固定

■専用ビス1

(金属胴縁15留付ビス)



ステンステクスネジ
【品番:JK1140】
材質:ステンレス
サイズ:φ4mm×19mm

※各部材は、2024年2月時点のものです。最新の情報は、NICHIIA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング 18mm厚品

下地

鉄骨下地方向

金属胴縁方向

張り方向

鉄骨下地

縦

横

縦

2) 主要部材一覧表

■専用ビス2 (本体留付ビス)



ステンステクスネジ
【品番:JK1510】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.5mm×10mm

■専用ビス3 (付属部材留付ビス)



平頭ねじ
【品番:KN65】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.8mm×13mm

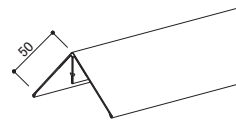
■専用ビス4 (表面留付ビス)

軒天部、笠木部などおよび補強工法での
センターサイディング表面留め用ビス



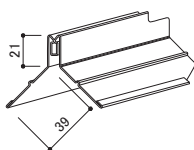
ステンレドリルビス
【品番:JK1740】
材質:ステンレス
サイズ:φ4.5mm×27mm

■出隅カバー



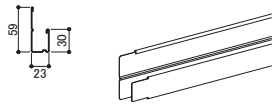
S出隅カバー
【品番:ADS2****】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■出隅鋼板受け



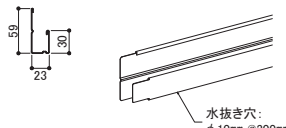
S出隅鋼板受け18
【品番:ADU1F00A】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
働き長さ:3,030mm

■見切縁



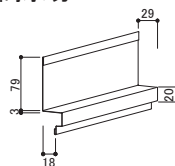
N見切縁18
【品番:AMKEF0**】
【品番:AMKGF0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm

■端部カバー



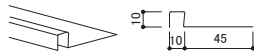
N端部カバー
【品番:AMKFF0**】
【品番:AMKHFO**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm
水抜き穴:φ10mm @ 300mm

■中間水切



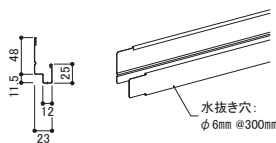
中間水切18
【品番:ATM6F0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 長さ:3,030mm

■片ハットジョイナー10



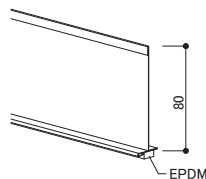
片ハットジョイナー10
【品番:FHK1110R】
材質:フッ素樹脂コート高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.3mm、長さ:2,000mm

■タテ用スターター



タテ用スターター
【品番:AST5F0**】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 働き長さ:3,030mm
水抜き穴:φ6mm @ 300mm
備考:左右継ぎ手加工あり

■鋼板止水部材



鋼板止水部材
【品番:KE5100】
材質:塗装高耐食GLめっき鋼板
厚み:0.35mm 長さ:3,030mm

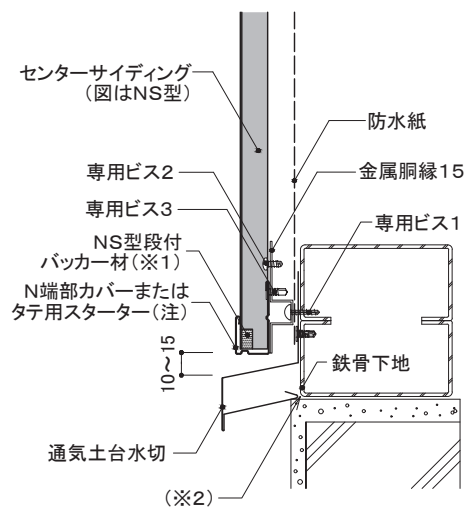
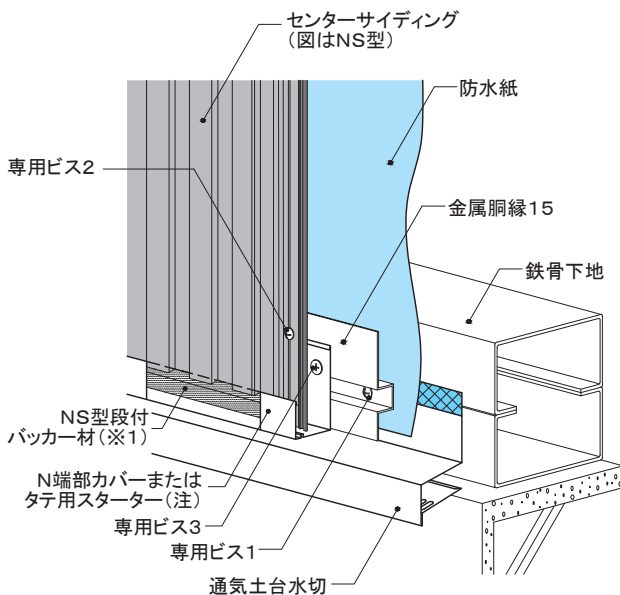
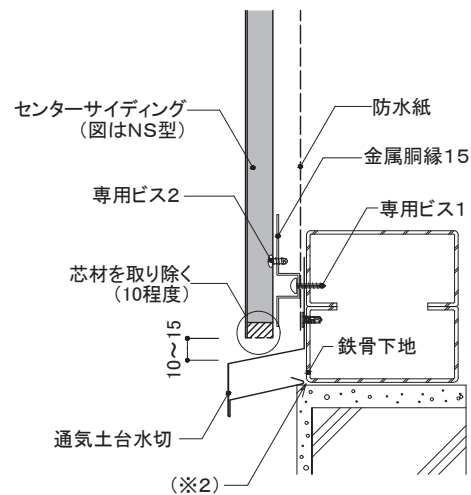
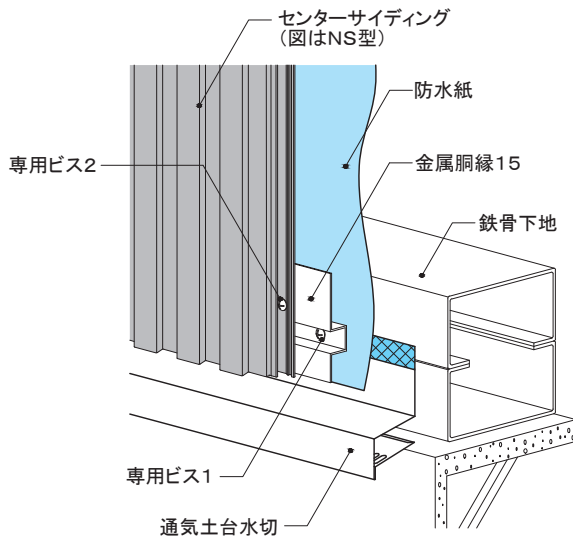
※各工法の納まり図例にて使用される主要な部材例です。(2024年2月時点)
その他の部材および各部材の最新情報は、NICHIIHA金属製外壁材・屋根材総合カタログでご確認ください。

センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地	鉄骨下地	金属胴縁	張り
		鉄骨下地	縦	横	縦

3) 土台部

通気土台水切

- 通気土台水切は、鉄骨下地に500mm以下の間隔で専用ビス3を用いて水平に留め付けます。
 - 金属胴縁15は鉄骨下地に専用ビス1を使用し、610mm以下の間隔で留め付けます。
 - センターサイディング下端はN端部カバーまたはタテ用スターターを使用するか、下端の芯材を10mm程度取り除きます。
 - N端部カバーまたはタテ用スターターを使用する場合、センターサイディング端部に必要に応じてNS型段付バッカー材 (ABK8Q0JL) を貼り付けます。(※1)
 - センターサイディング下端と通気土台水切の間に、10～15mmの隙間を設けます。
 - センターサイディングは、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製の部材を使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。



※2 吹き上げなどによる雨水の浸入を防ぐため、止水処理が確実にされていることを確認してください。

センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

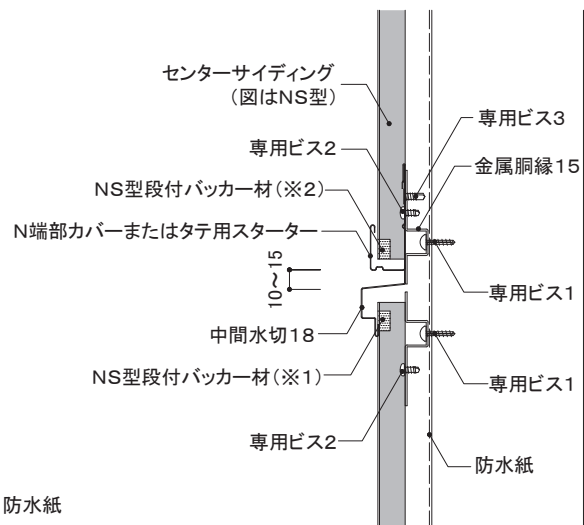
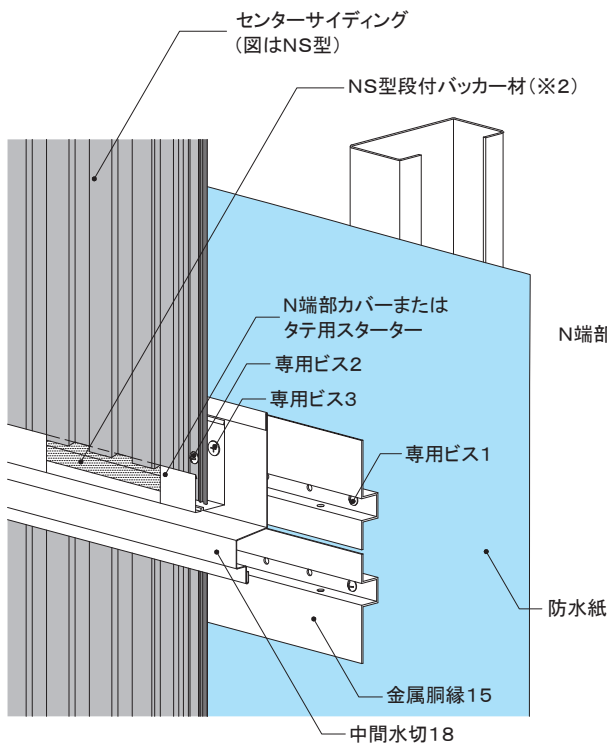
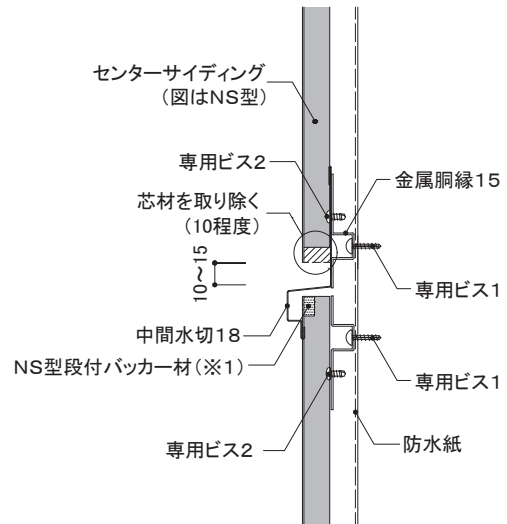
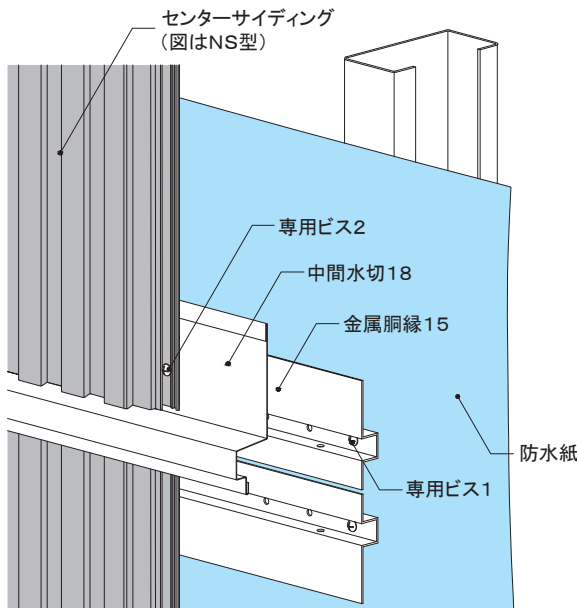
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	縦	横	縦

4) 上下接合部

中間水切18

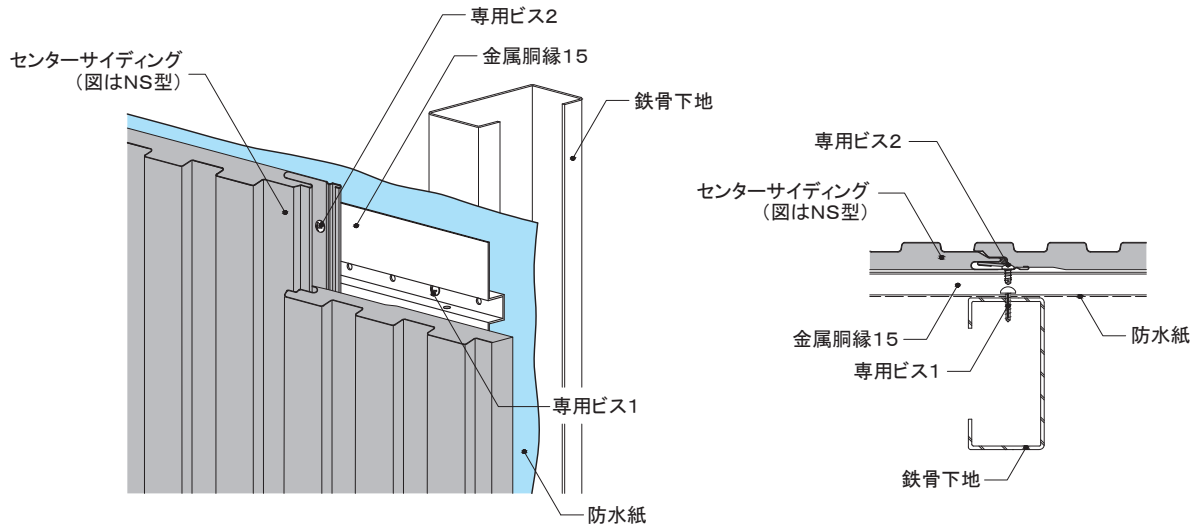
- 中間水切18の下側に施工するセンターサイディングの上端に、必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※1)
- 中間水切18の上側に施工するセンターサイディングの下端はN端部カバーを使用するか、下端の芯材を10mm程度取り除きます。
- N端部カバーまたはタテ用スターターを使用する場合、センターサイディング下端に必要なに応じてNS型段付バッカー材 (ABK8Q0JL) を貼り付けます。(※2)
- 中間水切18と上側に施工するセンターサイディング下端の間に、10~15mmの隙間を設けます。
- センターサイディングは、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



センターサイディング 18mm厚品	下地	鉄骨下地	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	横	縦

5) 左右接合部	嵌合
----------	----

- センターサイディングは実を確実に嵌合させ、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と垂直を確認しながら施工します。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

センターサイディング 18mm厚品

下地
鉄骨下地

鉄骨下地方向
縦

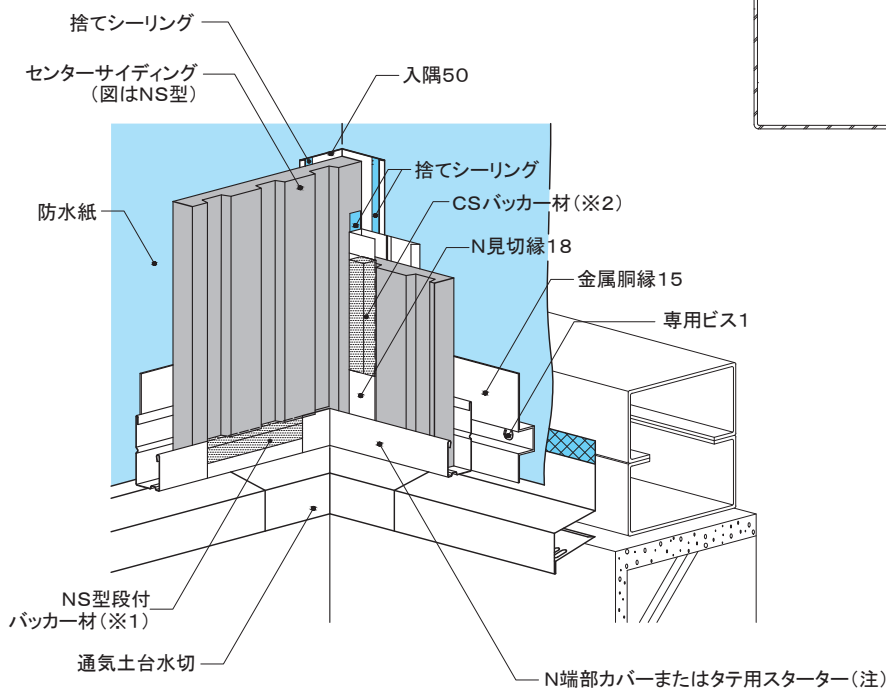
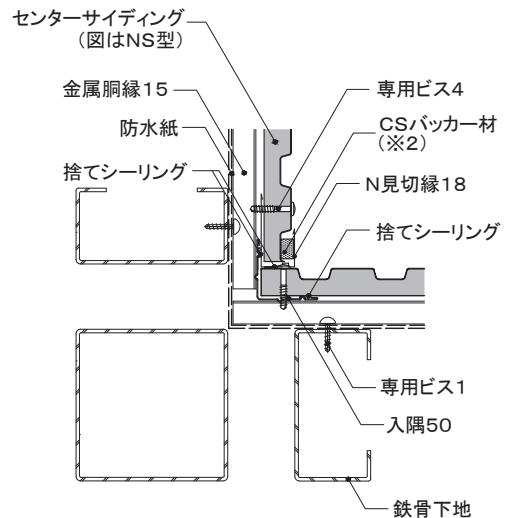
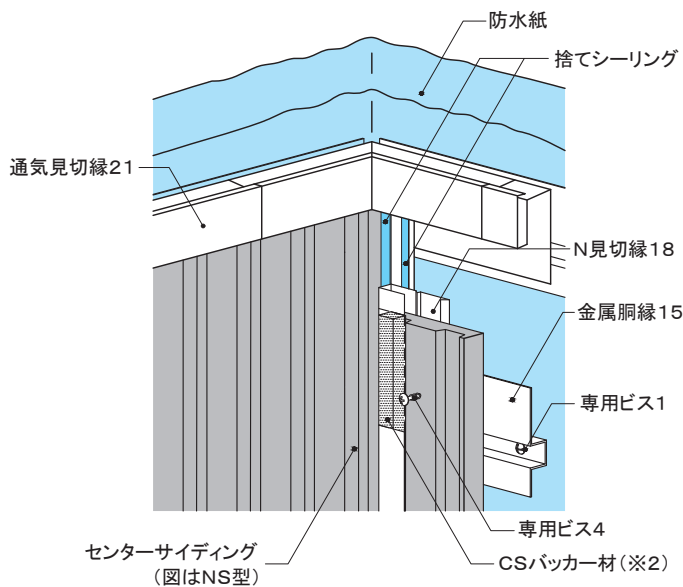
金属胴縁方向
横

張り方向
縦

6) 入隅部

N見切縁18

- 入隅50を取り付け、捨てシーリングを図のように両側端部に施工します。
 - センターサイディングの下端に、必要に応じてNS型段付バッカー材 (ABK8Q0JL) を貼り付け、N端部カバーおよび通気見切縁21に差し込みます。(※1)
 - 先施工側のサイディングを施工後、図のように捨てシーリングを施工し、N見切縁18を取り付けます。
 - センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、必要に応じて図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※2)
 - センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス4で留め付けます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製のN端部カバーを使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バッカー材は不要です。



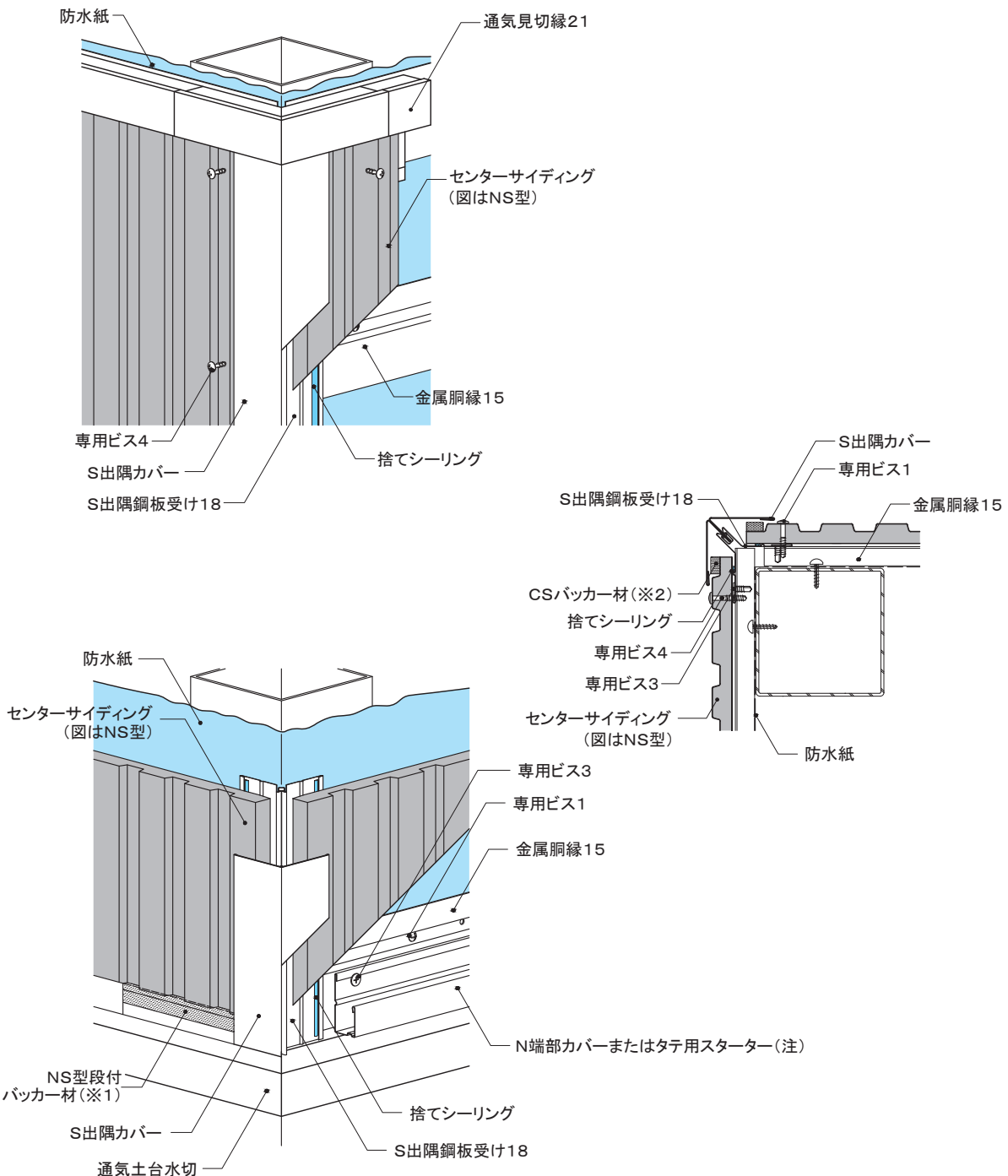
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	横	縦

7) 出隅部

S出隅鋼板受け18+S出隅カバー

- S出隅鋼板受け18を取り付け、捨てシーリングを施工します。
 - センターサイディングの下端に、必要に応じてNS型段付バック材(ABK8Q0JL)を貼り付け、N端部カバーおよび通気見切縁21に差し込みます。(※1)
 - センターサイディング端部が柄凹部となりS出隅カバーと隙間ができる場合は、下図のようにCSバック材を貼り付けます。(※2)
 - 実部に留め付けられないセンターサイディングは表面から専用ビス4で留め付けます。
 - S出隅カバーをS出隅鋼板受け18に差し込みます。
- (注)降雪量の多い地域では鋼板製のN端部カバーなどを使用せず、本体の芯材を取り除くかアルミ端部カバーを使用します。なお、アルミ端部カバーを使用する場合、NS型段付バック材は不要です。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

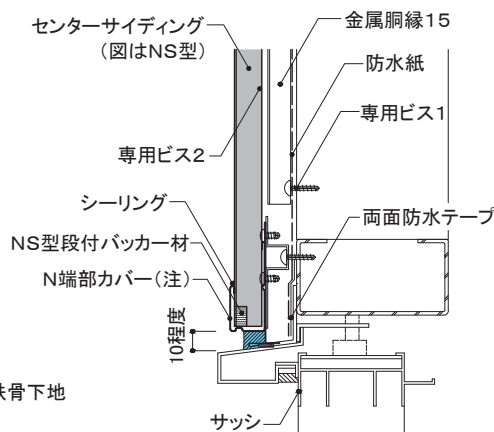
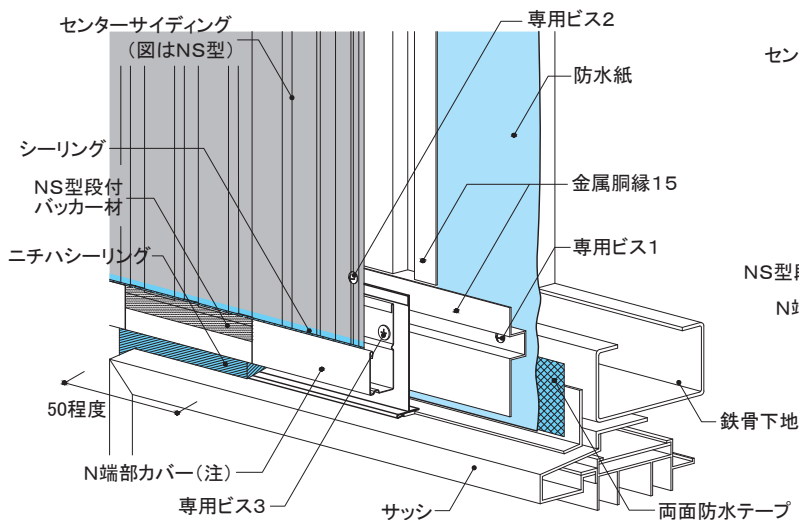
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
鉄骨下地	縦	横	縦

8) 開口部

①上側 N端部カバー

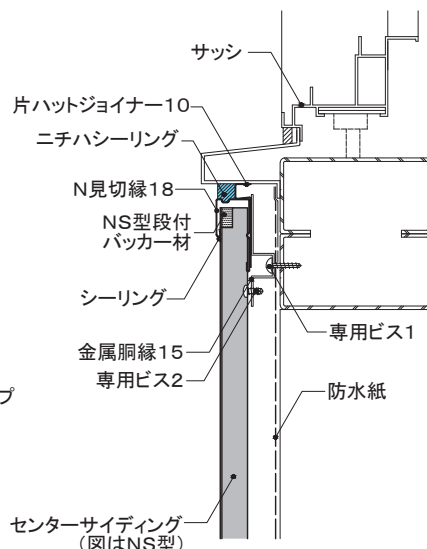
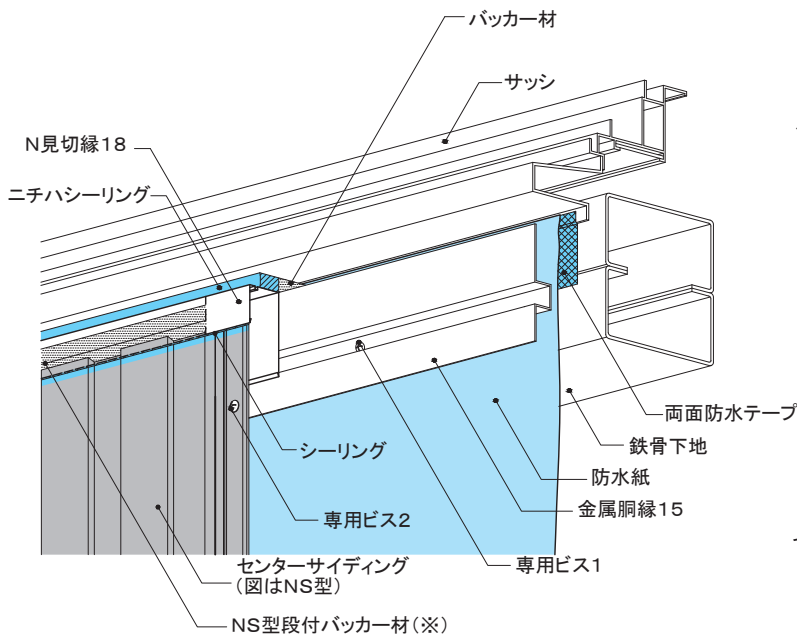
- 開口部まわりには、両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
 - 開口部上側は水抜き穴のあるN端部カバーを使用します。見切縁を使用する場合は、水抜き穴(φ10mm×300mm間隔)を現場加工します。
 - N端部カバーとサッシとの取り合い部に、10mm程度の隙間を設けて施工します。
 - センターサイディング下端に、NS型段付バック材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。
 - サッシ上部は、端部から50mm程度、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。
- (注)水抜き穴のない見切縁を使用する際は、全てニチハシーリングを充填します。



8) 開口部

②下側 N見切縁18

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとN見切縁18の取り合い部に、バック材を貼り付けます。
- センターサイディング上端にNS型段付バック材を貼り付け、N見切縁18に差し込みます。
- センターサイディングは専用ビス2で実部に留め付けます。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、マスキングテープで養生後ニチハシーリングを充填します。



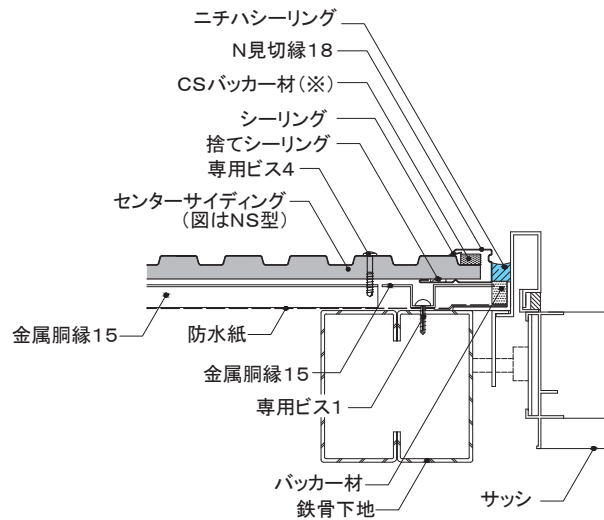
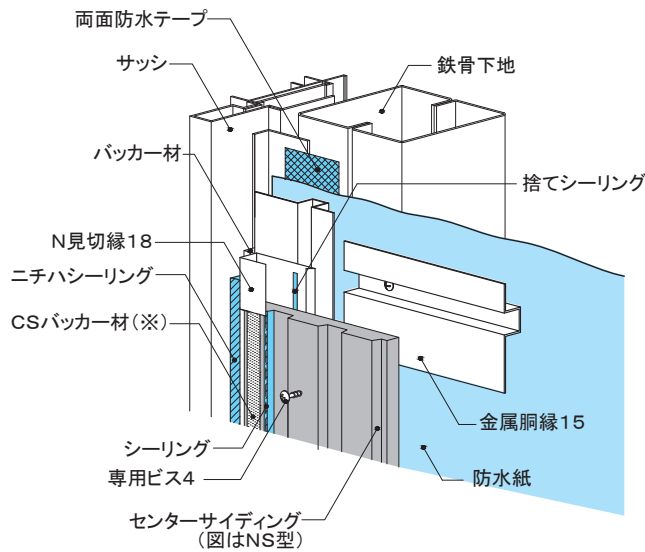
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	縦	金属胴縁方向	横	張り方向	縦
----	------	--------	---	--------	---	------	---

8) 開口部

③ 左右側 N見切縁18

- 開口部まわりには両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- サッシとN見切縁18の取り合い部は、バッカー材を用い10mm程度の隙間を設けて施工します。マスキングテープで養生後、ニチハシーリングを充填します。
- 図のように捨てシーリングをN見切縁18に施工します。
- センターサイディング端部が柄凹部でN見切縁18に隙間ができる場合は、図のようにCSバッカー材を貼り付けます。(※)
- センターサイディングの実部に留め付けができない場合は、表面から専用ビス4で留め付けます。



センターサイディング
標準施工法

センターサイディング
基本納まり図

本体・付属部材
詳細図

付属部材加工図

センターサイディング
木造編

センターサイディング
鉄骨造 金属胴縁編

センターサイディング
鉄骨造 直張り編

センター化粧幕板
標準施工法

センタールーフ
標準施工法

センタールーフ
納まり詳細図

参考資料

センターサイディング 18mm厚品

下地
鉄骨下地

鉄骨下地方向
縦

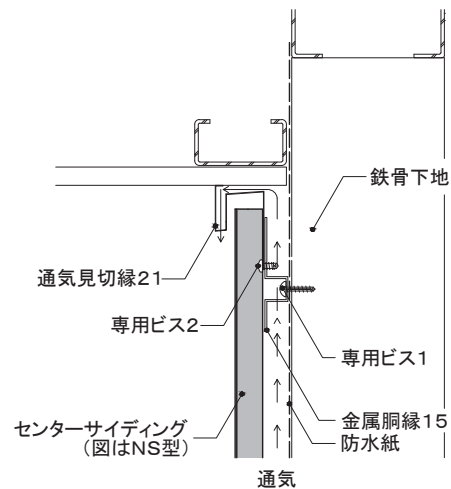
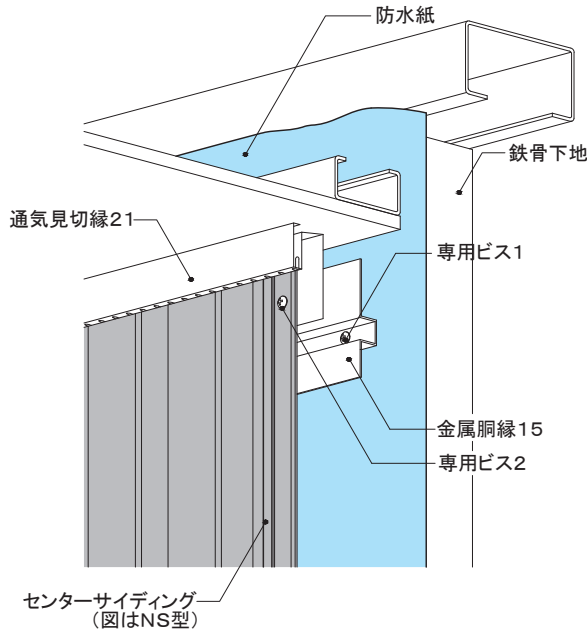
金属胴縁方向
横

張り方向
縦

9) 軒天部

① 通気見切縁21

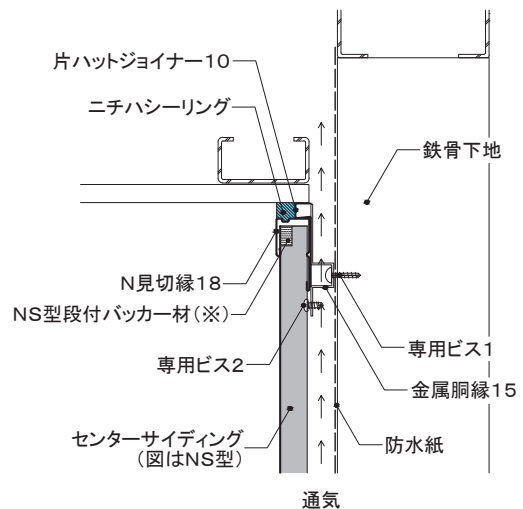
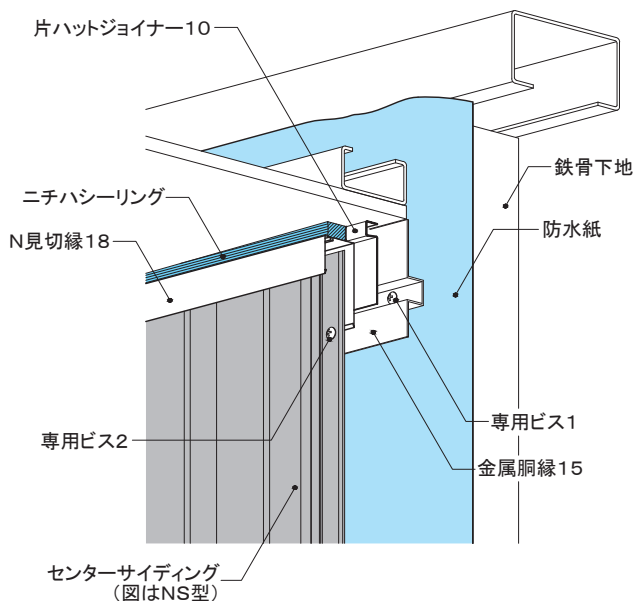
- センターサイディングの施工前に、通気見切縁21を図の位置に取り付けます。
- センターサイディングを通気見切縁21に差し込み、専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



9) 軒天部

② シーリング

- 通気が小屋裏へ抜けるように軒天工事前に先行して、防水紙張り胴縁下地組みを行います。
- センターサイディング上端に、必要に応じてNS型段付バッカー材を貼り付けます。(※)
- 軒天材とN見切縁18の取り合い部は、片ハットジョイナー10を用いて、10mm程度の隙間を設けて施工し、ニチハシーリングを充填します。



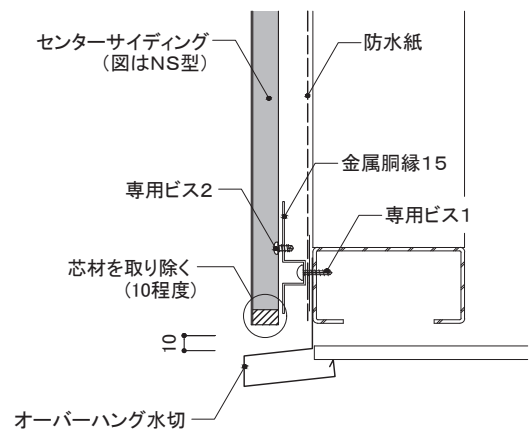
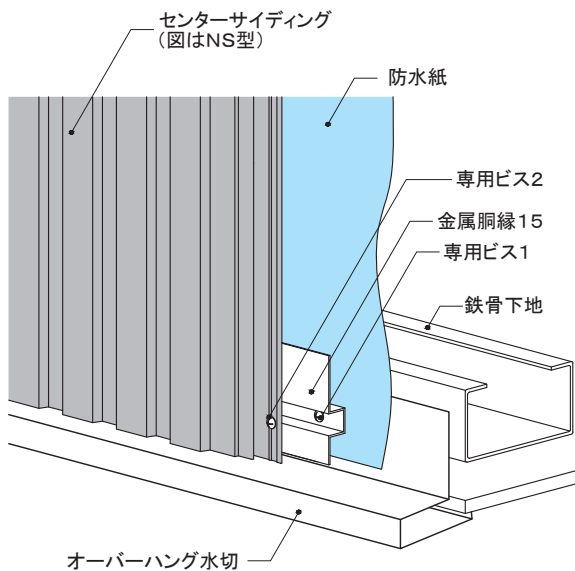
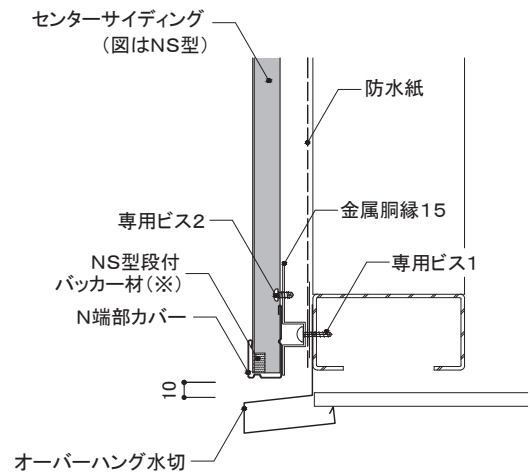
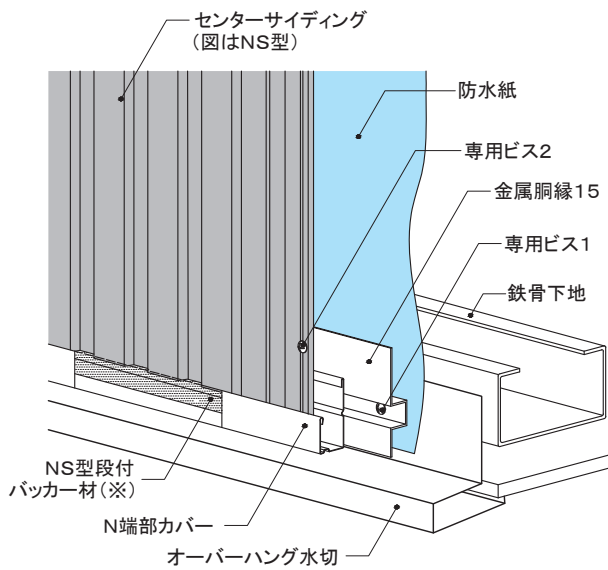
センターサイディング 18mm厚品

下地	鉄骨下地	鉄骨下地方向	金属胴縁方向	張り方向
	鉄骨下地	縦	横	縦

10) オーバーハング部

オーバーハング水切

- 防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工します。
- センターサイディング下端はN端部カバーを使用するか、芯材を10mm程度取り除きます。
- N端部カバーを使用する場合は、センターサイディング下端に必要なに応じてNS型段付バック材を貼り付け、N端部カバーに差し込みます。(※)
- センターサイディング下端とオーバーハング水切の間に、10mmの隙間を設けます。
- センターサイディングを専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。



標準施工法
センターサイディング

基本納まり図
センターサイディング

詳細図
本体・付属部材

付属部材加工図

木造編
センターサイディング

鉄骨造 金属胴縁編
センターサイディング

鉄骨造 直張り編
センターサイディング

標準施工法
センター化粧幕板

標準施工法
センタールーフ

納まり詳細図
センタールーフ

参考資料

